

香川地域職業能力開発促進協議会設置要綱(案)

1 目的

香川労働局及び香川県は、職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)第15条の規定に基づき、地域の関係機関が参画し、同法第16条第1項の規定に基づき設置する公共職業能力開発施設において実施する職業訓練(同法第15条の7第3項の規定に基づき実施する職業訓練を含む。)及び職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律(平成23年法律第47号)第4条第2項に規定する認定職業訓練(両訓練を合わせて、以下「公的職業訓練」という。)を実施するに当たり、地域における人材ニーズを適切に反映した訓練コースの設定を促進するとともに、訓練効果の把握・検証を通じた訓練内容の改善等の協議を行う香川地域職業能力開発促進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

なお、設置主体は香川労働局及び香川県とする。

2 構成

協議会の委員は、別添に掲げる者を香川労働局長が委嘱する。

- (1) 協議会に会長を置き、委員の互選により選任する。
- (2) 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- (3) 委員の任期は、毎年3月31日までとする。但し、再任を妨げない。

3 協議会の開催

協議会は、原則として年2回開催し、中央訓練協議会の開催に合わせて開催する。

4 協議事項

協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 公的職業訓練について、地域の人材ニーズ及び実施状況を踏まえた訓練コースの設定に関すること。
- (2) 公的職業訓練について、訓練効果の把握・検証等に関すること。
- (3) キャリアコンサルティングの機会の確保その他職業能力の開発及び向上の促進のための取組に関すること。
- (4) 公的職業訓練の実施にあたり年度計画の策定に関すること。
- (5) その他必要な事項に関すること。

5 事務局

協議会の事務局は、香川労働局職業安定部に置く。

6 その他

- (1) 協議会の議事については、協議会において申し合わせた場合を除き公開とする。
- (2) 協議会の事務に従事する者又は従事した者は、職業能力開発促進法第15条第3項の規定により、正当な理由なく、協議会の事務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。
- (3) この要綱に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は別に定める。

(附 則)

この要綱は、令和4年11月7日から施行する。

ハロートレーニング（離職者向け）の令和3年度実績

1 離職者向けの公的職業訓練の分野別訓練規模

		総計				
分 野		コース数	定員	受講者数	充足率	就職率
公共職業訓練（離職者向け） ＋求職者支援訓練（実践コース）	IT分野	4	45	39	87%	77%
	営業・販売・事務分野	24	384	298	78%	69%
	医療事務分野	10	140	100	71%	80%
	介護・医療・福祉分野	17	167	106	63%	76%
	農業分野	4	80	55	69%	85%
	旅行・観光分野	0	0	0	－	－
	デザイン分野	2	20	20	100%	75%
	製造分野	28	274	192	70%	85%
	建設関連分野	3	55	40	73%	79%
	理容・美容関連分野	7	54	41	76%	71%
	その他分野	15	138	119	86%	76%
求職者支援訓練 （基礎コース）	基礎	15	225	141	63%	54%
	合計	129	1,582	1,151	73%	75%
	（参考） デジタル分野	6	70	64	91%	92%

用語の定義

- 「コース数」
公共職業訓練(①③④)については、当該年度中に開講したコース及び当該年度以前から開始し当該年度に実施した訓練コースの数(当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含む)。
求職者支援訓練(②)については当該年度中に開講したコースの数。
- 「定員」
当該年度中に開講した訓練コースの定員の数。
- 「受講者数」
当該年度中に開講したコースに入校した者の数。
- 「応募倍率」
当該訓練の定員に対する受講を申し込んだ者の数の倍率。
- 「定員充足率」
当該訓練の定員に対する受講者数の割合。
- 「就職率」
訓練を修了等した者のうち就職した者の割合。分母については受講者数から中途退校者数(中途退校就職者数を除く)等を差し引き、分子については中途退校就職者を加えている。
※公共職業訓練(①③④)については、令和4年3月末までに終了したコースについて、訓練終了3ヶ月以内に就職した者を集計
※求職者支援訓練(②)については、令和3年12月末までに終了したコースについて、訓練終了3ヶ月以内に雇用保険被保険者になった者を集計
- 「デジタル分野」
 - ・IT分野(情報ビジネス系コースをを除く)
 - ・デザイン分野のうち、WEBデザイン系コース
 - ・製造分野のうち、スマート生産サポートのコース

2 離職者向けの公的職業訓練の制度別、分野別訓練の実施状況

		①公共職業訓練(県が民間に委託し実施)「委託訓練」							②求職者支援訓練(高齢・障害・求職者雇用支援機構が民間に委託し実施)						
分 野		《計画数》 定員	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	《計画数》 定員	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
公共職業訓練 ＋求職者支援訓練 (離職者向け) (実践コース)	IT分野	23	2	15	15	380.0%	100.0%	73.7%	45						
	営業・販売・事務分野	245	13	212	178	125.0%	84.0%	67.0%	75	9	128	76	72.7%	59.4%	73.5%
	医療事務分野	72	6	80	64	86.3%	80.0%	80.0%	75	4	60	36	75.0%	60.0%	78.6%
	介護・医療・福祉分野	110	13	112	84	103.6%	75.0%	83.1%	105	4	55	22	56.4%	40.0%	54.2%
	農業分野	20	2	20	20	140.0%	100.0%	73.7%	84						
	旅行・観光分野	15													
	デザイン分野														
	製造分野														
	建設関連分野														
	理容・美容関連分野	7	3	7	2	28.6%	28.6%	100.0%		4	47	39	93.6%	83.0%	55.6%
	その他分野	10													
求職者支援訓練【地域ニーズ枠】		－	－	－	－	－	－	－	60	(内数) 5	(内数) 70	(内数) 35	55.7%	50.0%	51.6%
(求職者支援訓練 基礎コース)	基礎	－	－	－	－	－	－	－	435	15	225	141	80.4%	62.7%	53.8%
合計		502	39	446	363	120.4%	81.4%	73.9%	879	36	515	314	76.5%	61.0%	62.1%
(参考) デジタル分野		8	1	0	0	－	－	100.0%	45	0	0	0	－	－	－

※コース数の欄のみ、当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含んでいる
※就職率は、令和4年3月末までに終了したコースについて、訓練終了3ヶ月以内に就職した者を集計

※求職者支援訓練は、「IT」「営業・販売・事務」「医療事務」「介護・医療・福祉」以外の分野については、「その他分野」として一括りで計画しているため、灰色の分野合計で計画数84人となる。
※求職者支援訓練は毎年「地域ニーズ枠」として地域の状況に応じたコースを計画している。令和3年度は就職氷河期世代向けのコース(短期間で資格取得を目指すコース)を地域ニーズ枠に設定したが、計画段階では分野は定めなため、地域ニーズ枠計画数60人と表示している。一方、「地域ニーズ枠」のコース数・定員・受講者数・応募倍率・定員充足率・就職率は、各分野で計上しているため、「地域ニーズ枠」の欄での表示は内数となる。
※就職率は、令和3年12月末までに終了したコースについて、訓練終了3ヶ月以内に雇用保険被保険者になった者を集計

	③公共職業訓練(県の施設内で実施)							④公共職業訓練(高齢・障害・求職者雇用支援機構の施設内で実施)						
分 野	《計画数》 定員	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	《計画数》 定員	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
IT分野	30	2	30	24	156.7%	80.0%	80.0%					－	－	－
営業・販売・事務分野	44	2	44	44	186.4%	100.0%	75.0%					－	－	－
医療事務分野					－	－	－					－	－	－
介護・医療・福祉分野					－	－	－					－	－	－
農業分野	60	2	60	35	83.3%	58.3%	90.9%					－	－	－
旅行・観光分野					－	－	－					－	－	－
デザイン分野	20	2	20	20	230.0%	100.0%	75.0%					－	－	－
製造分野	50	7	45	21	66.7%	46.7%	86.7%	229	21	229	171	115.7%	74.7%	85.3%
建設関連分野	55	3	55	40	118.2%	72.7%	79.5%					－	－	－
理容・美容関連分野					－	－	－					－	－	－
その他分野	20	2	20	16	100.0%	80.0%	75.0%	118	13	118	103	170.3%	87.3%	76.3%
合計	279	20	274	200	124.1%	73.0%	80.3%	347	34	347	274	134.3%	79.0%	83.0%
(参考) デジタル分野	30	2	30	24	156.7%	80.0%	80.0%	40	3	40	40	275.0%	100.0%	97.5%

※コース数の欄のみ、当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含んでいる
※就職率は、令和4年3月末までに終了したコースについて、訓練終了3ヶ月以内に就職した者を集計

※コース数の欄のみ、当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含んでいる
※就職率は、令和4年3月末までに終了したコースについて、訓練終了3ヶ月以内に就職した者を集計

ハロートレーニング（離職者向け）の令和4年度実績（8月末現在）

1 離職者向けの公的職業訓練の分野別訓練規模

		総計			
分 野		コース数	定員	受講者数	充足率
公共職業訓練（離職者向け） ＋求職者支援訓練（実践コース）	IT分野	2	21	21	100%
	営業・販売・事務分野	8	119	98	82%
	医療事務分野	5	67	46	69%
	介護・医療・福祉分野	12	45	34	76%
	農業分野	2	40	25	63%
	旅行・観光分野	0	0	0	－
	デザイン分野	1	10	10	100%
	製造分野	16	87	57	66%
	建設関連分野	2	35	24	69%
	理容・美容関連分野	4	27	23	85%
	その他分野	7	73	50	68%
求職者支援訓練 （基礎コース）	基礎	9	135	98	73%
	合計	68	659	486	74%
	（参考） デジタル分野	3	21	21	100%

用語の定義

※本資料における用語は、以下のとおり定義しています。

- 「コース数」
公共職業訓練については、当該年度中に開講したコース及び当該年度以前から開始し当該年度に実施した訓練コースの数（当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含む）。
求職者支援訓練については当該年度中に開講したコースの数。
- 「定員」
当該年度中に開講した訓練コースの定員の数。
- 「受講者数」
当該年度中に開講したコースに入校した者の数。
- 「応募倍率」
当該訓練の定員に対する受講を申し込んだ者の数の倍率。
- 「定員充足率」
当該訓練の定員に対する受講者数の割合。
- 「デジタル分野」
・IT分野（情報ビジネス系コースを除く）
・デザイン分野のうち、WEBデザイン系コース
・製造分野のうち、スマート生産サポートのコース

2 離職者向けの公的職業訓練の制度別、分野別訓練の実施状況

		①公共職業訓練（県が民間に委託し実施）「委託訓練」							②求職者支援訓練（高齢・障害・求職者雇用支援機構が民間に委託し実施）						
分 野		《計画数》 定員	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	《計画数》 定員	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
公共職業訓練 ＋求職者支援訓練（離職者向け） （実践コース）	IT分野	36	1	6	6	150.0%	100.0%	－	50						－
	営業・販売・事務分野	248	5	74	65	120.3%	87.8%	－	58	2	23	12	52.2%	52.2%	－
	医療事務分野	72	3	36	25	75.0%	69.4%	－	60	2	31	21	93.5%	67.7%	－
	介護・医療・福祉分野	94	11	30	27	90.0%	90.0%	－	95						－
	農業分野	20	1	10	9	110.0%	90.0%	－							－
	旅行・観光分野	15						－							－
	デザイン分野							－	45						－
	製造分野							－	30						－
	建設関連分野							－							－
	理容・美容関連分野	4	2	4	3	100.0%	75.0%	－		2	23	20	100.0%	87.0%	－
	その他分野	10						－		1	15	3	26.7%	20.0%	－
求職者支援訓練【地域ニーズ枠】		－	－	－	－	－	－	－	150	（内数） 3	（内数） 39	（内数） 29	89.7%	74.3%	－
（求職者支援訓練） （基礎コース）	基礎	－	－	－	－	－	－	－	300	9	135	98	91.9%	72.6%	－
合計		499	23	160	135	104.4%	84.4%	－	788	16	227	154	84.6%	67.8%	－
（参考） デジタル分野		21	1	6	6	150.0%	100.0%	－	95						－

※コース数の欄のみ、当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含んでいる

※求職者支援訓練は、「IT」「営業・販売・事務」「医療事務」「介護・医療・福祉」「デザイン」以外の分野については、「その他分野」として一括りで計画しているため、灰色の分野合計で計画数30人となる。
※求職者支援訓練は毎年「地域ニーズ枠」として地域の状況に応じたコースを計画している。令和3年度は短期・短時間特例訓練コース（通常より訓練時間や期間が短いコース）を地域ニーズ枠に設定したが、計画段階では分野は定めないため、地域ニーズ枠計画数150人と表示している。一方、「地域ニーズ枠」のコース数・定員・受講者数・応募倍率・定員充足率は、各分野で計上しているため、「地域ニーズ枠」の欄での表示は内数となる。

	③公共職業訓練（県の施設内で実施）							④公共職業訓練（高齢・障害・求職者雇用支援機構の施設内で実施）						
分 野	《計画数》 定員	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	《計画数》 定員	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
IT分野	30	1	15	15	100.0%	100.0%	－					－	－	－
営業・販売・事務分野	44	1	22	21	154.5%	95.5%	－					－	－	－
医療事務分野					－	－	－					－	－	－
介護・医療・福祉分野	30	1	15	7	60.0%	46.7%	－					－	－	－
農業分野	60	1	30	16	60.0%	53.3%	－					－	－	－
旅行・観光分野					－	－	－					－	－	－
デザイン分野	20	1	10	10	280.0%	100.0%	－					－	－	－
製造分野	50	4	15	5	60.0%	33.3%	－	229	12	72	52	90.3%	72.2%	－
建設関連分野	55	2	35	24	88.6%	68.6%	－					－	－	－
理容・美容関連分野					－	－	－					－	－	－
その他分野	20	1	10	9	90.0%	90.0%	－	118	5	48	38	175.0%	79.2%	－
合 計	359	12	152	107	100.7%	70.4%	－	347	17	120	90	124.2%	75.0%	－
（参考） デジタル分野	30	1	15	15	100.0%	100.0%	－	40	1	0	0	－	－	－

※コース数の欄のみ、当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含んでいる

※コース数の欄のみ、当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含んでいる

公的職業訓練（学卒者訓練）の実施状況

		合計			機構			都道府県		
		定員	在学者数	就職率	定員	在学者数	就職率	定員	在学者数	就職率
令和 3年度	合計	215 人	389 人	97.9%	150 人	301 人	97.6%	65 人	88 人	97.1%
	専門課程	85 人	168 人	100.0%	85 人	168 人	100.0%	-	-	-
	応用課程	65 人	133 人	96.6%	65 人	133 人	96.6%	-	-	-
	普通課程 （高卒）	65 人	88 人	97.1%	-	-	-	65 人	88 人	97.1%

※ 在学者数には、前年度繰越者数を含む。

※ 就職率は、令和3年度中に訓練を修了した者の1ヶ月後の就職状況。

公的職業訓練（障害者訓練）の実施状況

		定員	受講者数	定員充足率	就職率
令和３年度	合計	14 人	8 人	57.1%	71.4%
	施設内訓練	-	-	-	-
	委託訓練	14 人	8 人	57.1%	71.4%

※ 受講者数は前年度繰越者と当該年度入校者数の合計。

※ 定員がない訓練については、受講者数を定員とする。

※ 充足率は受講者数のうち当該年度入校者数を訓練定員で除して算出。

※ 都道府県が自治事務として行う施設内訓練及び都道府県費による委託訓練の実績を含む。

公的職業訓練（在職者訓練）の実施状況

	合計	機構		都道府県	
	受講者数	定員	受講者数	定員	受講者数
令和３年度	1, 316 人	831 人（ポリテク） 925 人（カレッジ）	592 人（ポリテク） 526 人（カレッジ）	238 人	198 人

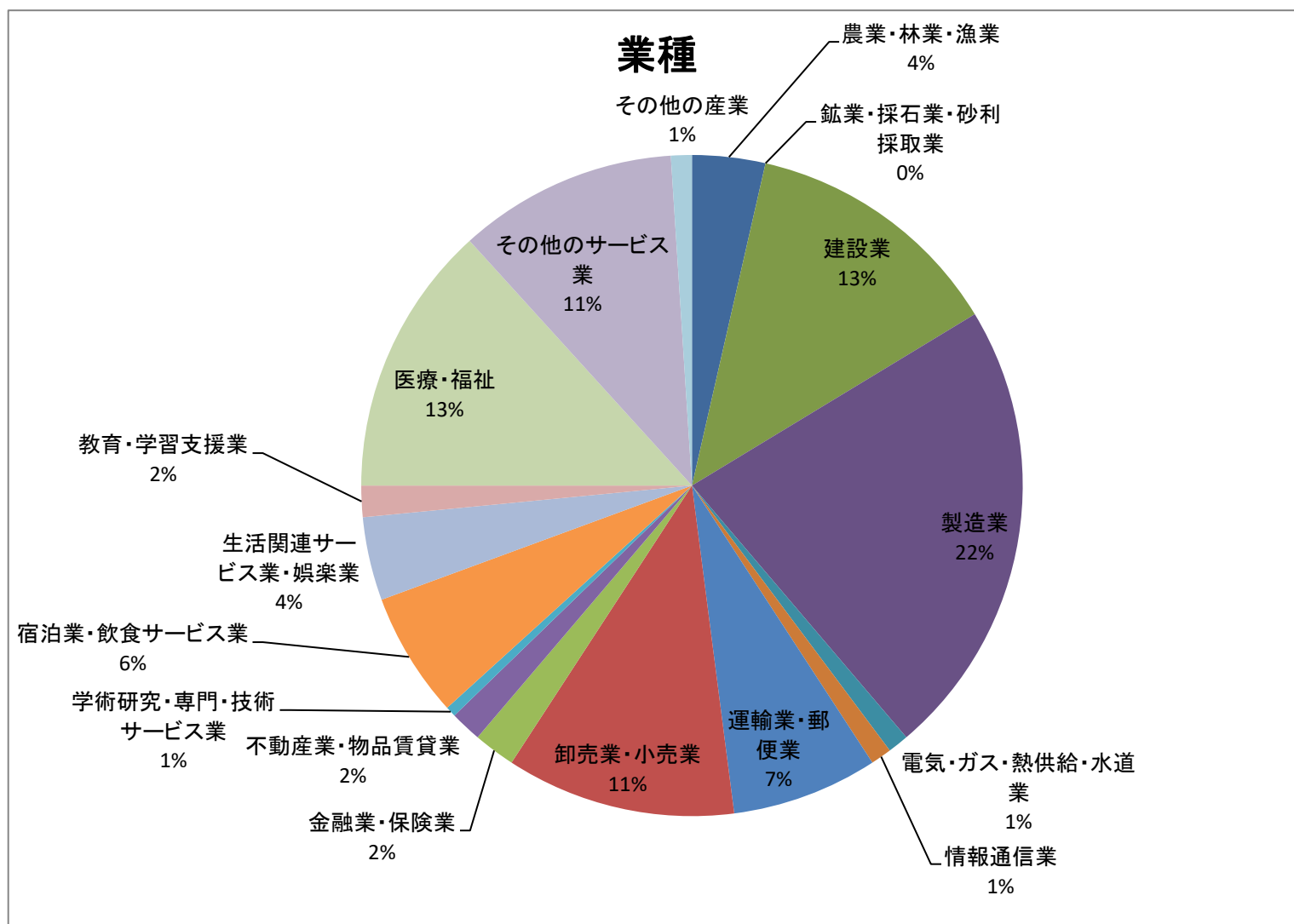
ハローワーク求人受理窓口での、事業所へのヒアリング調査結果 (事業主向けアンケート)

【目的】 事業主等からの職業訓練ニーズの把握
 【調査対象】 求人受理窓口利用事業所
 【調査期間】 令和4年8月1日～令和4年8月26日
 【調査標本数】 192 (高松所-86 丸亀所-32 坂出所-36 観音寺所-12
 さぬき所-7 東かがわ出張所-12 土庄所-7)

業種について

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
	農業・林業・漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	その他のサービス業	その他の産業	合計
合計	7	0	25	44	2	2	14	22	4	3	1	12	8	3	26	21	2	196

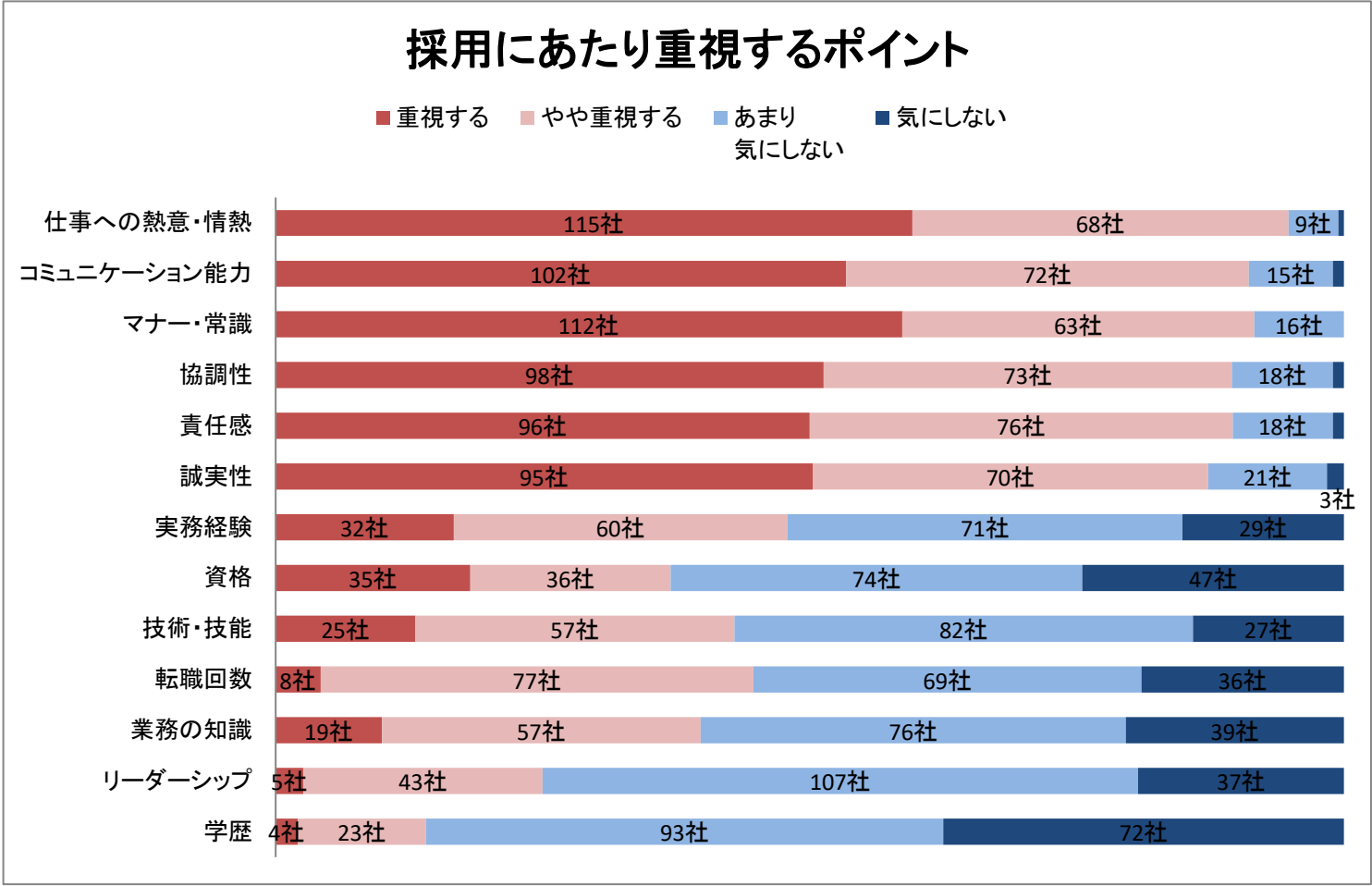
4社複数回答



県内各ハローワークにおいて、事業所向けアンケートとして、業種、企業規模等を指定せずに調査を実施。192の事業所から回答が得られた。
 回答のあった事業所を業種別で見ると、製造業(44社、22%)、医療・福祉(26社、13%)、建設業(25社、13%)が上位を占めている。

採用するにあたり重視するポイント

		①	②	③	④
		重視する	やや重視する	あまり 気にしない	気にしない
1	仕事への熱意・情熱	115社	68社	9社	1社
2	コミュニケーション能力	102社	72社	15社	2社
3	マナー・常識	112社	63社	16社	0社
4	協調性	98社	73社	18社	2社
5	責任感	96社	76社	18社	2社
6	誠実性	95社	70社	21社	3社
7	実務経験	32社	60社	71社	29社
8	資格	35社	36社	74社	47社
9	技術・技能	25社	57社	82社	27社
10	転職回数	8社	77社	69社	36社
11	業務の知識	19社	57社	76社	39社
12	リーダーシップ	5社	43社	107社	37社
13	学歴	4社	23社	93社	72社



【その他、項目以外で採用するにあたり重視するポイント】

- 【建設業】ムード 雰囲気 明るさ 愛嬌
- 【医療・福祉】成長する意思 理解力 自己管理能力 傾聴力 協働力
- 【卸売業・小売業】志望動機 会社の情報の有無 清潔感
- 【その他サービス業】積極性 コミュニケーション能力 協調性
- 【学術研究・専門・技術サービス業】素直さ
- 【製造業】過去の職歴
- 【生活関連サービス業・娯楽業】希望出勤日無し 希望休日無し

採用にあたっては、「仕事への熱意・情熱」、「マナー・常識」、「コミュニケーション能力」、「協調性」等、人物（性格・人柄）を重視する傾向が強い。

一方で、「学歴」、「リーダーシップ」、「業務の知識」、「転職回数」等については重視されにくいという結果となった。

その他、項目以外で採用するにあたり重視するポイントも、「建設業」では「明るさ」「愛嬌」、「医療・福祉」では「傾聴力」「協働力」、「卸売業・小売業」では「会社の情報の有無」「清潔感」等、各業種の特徴が表れているが、比較的どの業種も人物（性格・人柄）を重視していることがうかがえる。

採用時に希望する技能・資格

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
			農業・林業・漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	その他のサービス業	その他の産業	合計
1 事務・医療事務関係	①	簿記3級	0	0	3	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	10
	②	簿記2級	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	③	人事・労務事務	0	0	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	6
	④	財形会計・経理事務	0	0	4	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	⑤	保険請求事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	⑥	医療事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
	⑦	介護事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑧	パソコン初級程度(文書作成・表計算)	1	0	7	6	1	0	1	5	2	1	0	1	1	0	5	7	0	38
	⑨	パソコン中級程度(文書作成・表計算)	1	0	6	4	0	1	3	2	1	1	0	0	1	1	5	3	0	29
	⑩	パソコン(データベース・プログラミング等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	⑪	パソコン(WEBデザイン・ホームページ作成等)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	⑫	パソコン(フォトショップ・イラストレーター)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2 営業・販売・サービス業関係	①	調理師	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	1	0	1	0	0	8
	②	理容師・美容師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
	③	ネイリスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	④	エステティシャン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	⑤	販売士	0	0	2	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	⑥	栄養士	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	6
	⑦	コミュニケーション検定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑧	造園技能士	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	⑨	ビルクリーニング技能士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	⑩	トリマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑪	添乗員(旅程管理主任者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑫	宅地建物取引主任者	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	⑬	警備指導責任者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
3 医療・福祉関係	①	介護福祉士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	15
	②	社会福祉士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
	③	介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
	④	保育士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4
	⑤	介護職員実務者研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
	⑥	理学療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	⑦	看護師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9
	⑧	はり師・きゅう師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑨	介護職員初任者研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	13
	⑩	作業療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	⑪	歯科衛生士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
4 建築・工事関係	①	SEオペレーター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②	CADオペレーター	0	0	5	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	③	電気工事士	0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	④	測量士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	⑤	電気設備	0	0	8	7	0	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	22
	⑥	車両系機械オペレーター	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	⑦	危険物取扱者	0	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	7
	⑧	建築士	0	0	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11
	⑨	高所作業車運転技能者	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	⑩	左官技能士	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	⑪	建築大工技能	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	⑫	消防設備士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	⑬	型枠大工	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5 製造業関係	①	溶接技能	1	0	1	14	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	②	印刷・製本技術	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	③	自動車整備士	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	④	フライス盤技能	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	⑤	NC施盤作業技能	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	⑥	板金技能工	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	⑦	縫製技能士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑧	シーケンス制御技能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑨	機械加工技能士	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	⑩	玉掛け	0	0	2	14	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	19
6 その他			普通自動車免許		建築施工管理技士	衛生管理者			中型運転免許 自動車免許 地図が読める									サービス介護士 英会話 幼・小・中教員免許		
合計			3	0	65	68	1	4	13	24	5	11	1	6	11	2	92	20	0	326

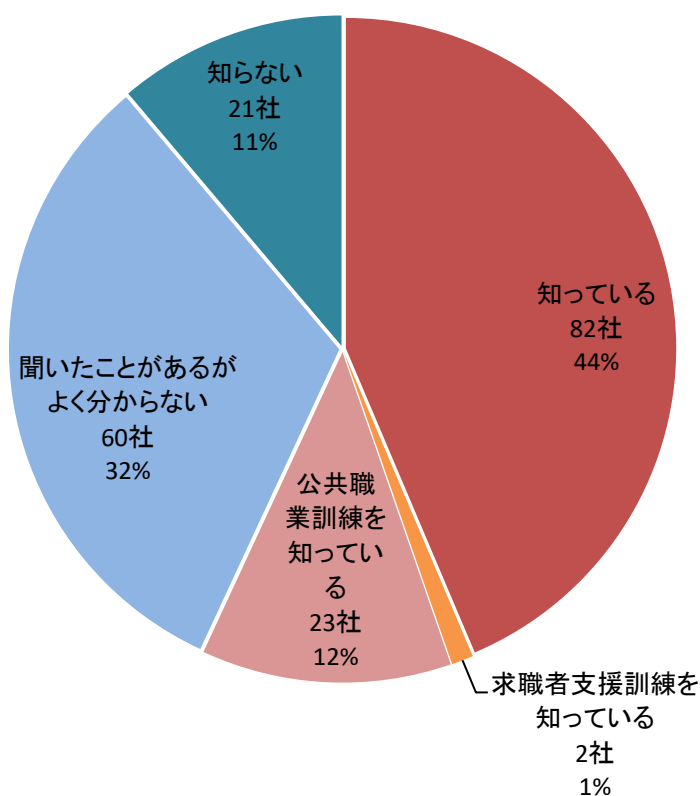
上記の表は、採用時に希望する技能・資格について、業種別に、回答数が多かったものに濃い色をつけているものである。
各業種それぞれ特色があるものの、全体的に「パソコン初級程度(文書作成・表計算)」の技能を求める事業所が多かった(38社)。
業種別に見ると、「医療・福祉」の分野では「介護福祉士」や「介護職員初任者研修」の資格、「建設業」の分野では「建築士」の資格、「製造業」の分野では「溶接技能」や「玉掛け」の資格を求める事業所が多く、それぞれ即戦力となる求職者の採用を希望する傾向がみられる。

求職者支援制度、公共職業訓練の認知度について

	①	②	③	④	⑤	
	知っている	求職者支援訓練を知っている	公共職業訓練を知っている	聞いたことがあるがよく分からない	知らない	合計
合計	82社	2社	23社	60社	21社	188社

4社無回答

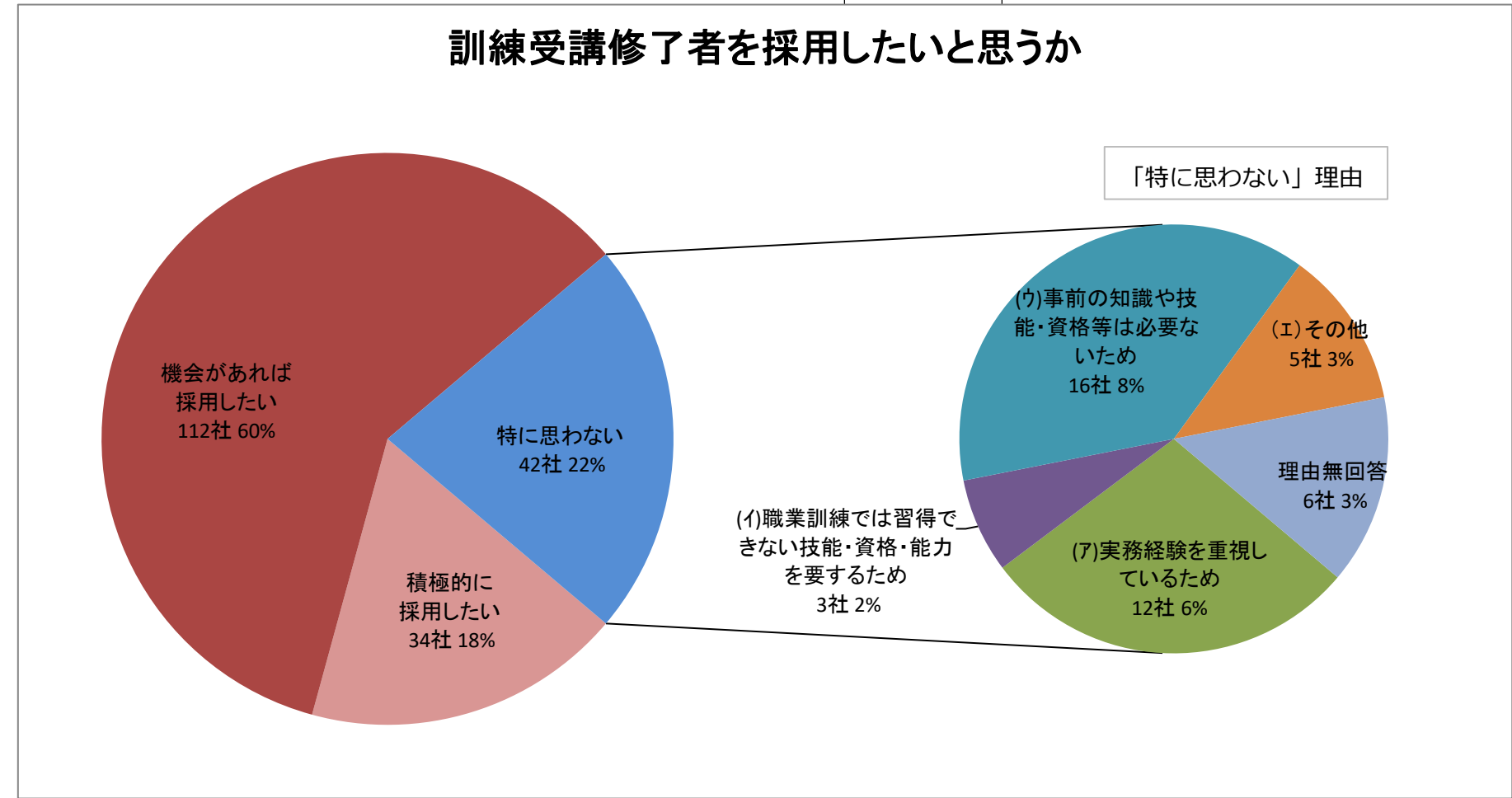
訓練の認知度



求職者支援訓練、公共職業訓練の両方を知っている事業所は全体の44%、いずれか一方を知っている事業所は全体の13%であり、あわせて全体の約6割であった。また、「聞いたことがあるがよく分からない」、「知らない」と答えた事業所は全体の43%であり、この割合は昨年度と変わっておらず、事業所における認知度はまだまだ低いと言える。

訓練受講修了者の採用について

		①	②	③				
		積極的に 採用したい	機会があれば 採用したい	特に思わない				
				(ア)実務経験を 重視している ため	(イ)職業訓練で は習得できな い技能・資格・ 能力を要する ため	(ウ)事前の知 識や技能・資 格等は必要な いため	(エ)その他	理由無回答
①	農業・林業・漁業	0	2	0	0	2	1	3
②	鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0
③	建設業	8	14	0	0	0	0	0
④	製造業	13	28	2	0	2	0	0
⑤	電気・ガス・熱供給・水道業	0	2	0	0	0	0	0
⑥	情報通信業	0	1	1	0	0	0	0
⑦	運輸業・郵便業	2	8	1	0	0	1	1
⑧	卸売業・小売業	0	12	2	0	5	1	1
⑨	金融業・保険業	0	2	1	1	0	0	0
⑩	不動産業・物品賃貸業	1	1	0	0	1	0	0
⑪	学術研究・専門・技術サービス業	0	1	0	0	0	0	0
⑫	宿泊業・飲食サービス業	1	5	1	0	3	1	0
⑬	生活関連サービス業・娯楽業	1	3	2	0	1	0	0
⑭	教育・学習支援業	0	2	1	0	0	0	0
⑮	医療・福祉	6	19	1	0	0	0	0
⑯	その他のサービス業	2	12	0	2	2	0	0
⑰	その他の産業	0	0	0	0	0	1	1
合計		34社	112社	12社	3社	16社	5社	6社



訓練受講修了者の採用について、「積極的に採用したい」「機会があれば採用したい」と採用を前向きに考えている事業所は78%と大半を占めた。一方、採用したいとは「特に思わない」と答えた事業所も22%あり、その理由として、「事前の知識や技能・資格等は必要ないため」と答える事業所の割合が多かった。

自由記述

- ・実践向きの指導方法で教えてもらえると、両者やりやすくなると思う。（製造業）
- ・職業訓練受講修了者を何人も採用しています。
訓練機関である程度キャリアカウンセリングを受けているので、受講者の持っているスキルを把握しやすくマッチングしやすい。（製造業）
- ・技術面だけでなく、マナー（履歴書の書き方、面接の受け答えの仕方）などの指導をお願いしたい。（製造業）

○求人者のニーズに合った訓練コース設定

「採用時に希望する技能・資格」については、全体的に「パソコン初級程度（文書作成・表計算）」を希望する事業所が多く、求職者がどの業界で就職を目指すにしても、基本的なパソコン操作をできるようにしておく必要が感じられる。一方で、「データベース・プログラミング」等専門的なパソコン技術については希望する事業所が少ないという結果となったが、本アンケートはハローワーク窓口を利用している求人者から回収したものであり、「情報通信業」の事業所はハローワーク窓口の利用が少ないため、このような結果となったと考えられる。引き続きデジタル人材の育成のため、専門的なパソコン技術の習得ができる訓練についてはコース設定を行っていく必要がある。

また、「採用するにあたり重視するポイント」については、「業務の知識」、「実務経験」、「資格」等よりも、「仕事への熱意・情熱」、「マナー・常識」、「コミュニケーション能力」といった、人物（性格、人柄）を重視する事業所が多く見られた。また、自由記述欄にて、「技術面だけでなく、マナーなどの指導をお願いしたい。」との記述も見られた。現行の訓練コースでは、導入講習付きコースをはじめ、パソコンの基本操作やコミュニケーション能力の習得を目指す講義を含むものもあり、求人者ニーズに合ったコース設定が実施できているといえる。

一方で、「医療・福祉関係」や「建設業」、「製造業」の事業所においては、それぞれ専門的な資格を希望する事業所が多く、引き続き訓練コースの設定を行っていく必要がある。

○効果的な周知方法

求職者支援訓練、公共職業訓練のどちらも知っている事業所は全体の44%だったにもかかわらず、訓練受講修了者を「積極的に採用したい」、「機会があれば採用したい」と答えた事業所は、全体の78%であった。この結果から、職業訓練についてよく分からなくとも、修了者の採用については肯定的である事業所が多いことがうかがえる。

求職者向けアンケートでは、離職後、再就職を急ぐ者も多くいるという結果であったが、求人者は訓練受講者を肯定的にとらえていることから、必要に応じて求職者を受講あっせんしていく必要がある。

また、求職者に対しては、ハローワークの職業訓練窓口や説明会等で訓練制度について周知できる機会が比較的多いが、求人者に対しては、そういった機会が少なく、訓練制度についてよく分からないという事業所が多いと考えられる。したがって、求人者に対しても、訓練制度の概要や各訓練コースの内容、具体的な修了予定者の人材情報等を積極的に提供し、訓練受講修了者の就職につなげていくことが重要である。

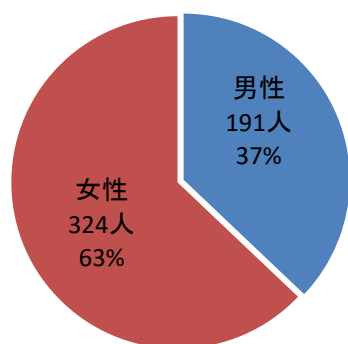
ハローワーク職業相談窓口での、一般求職者へのヒアリング調査結果 (求職者向けアンケート)

【目的】 求職者ニーズ調査の把握、効果的周知方法等の分析
 【調査対象】 一般職業相談窓口利用者
 【調査期間】 令和4年8月1日～令和4年8月26日
 【調査標本数】 524（高松所-183 しごとプラザ高松-74 丸亀所-116 坂出-50
 観音寺所-45 さぬき所-28 東かがわ出張所-10 土庄所-18）
 ※うち10名 集計不能 1名 ダブルカウント

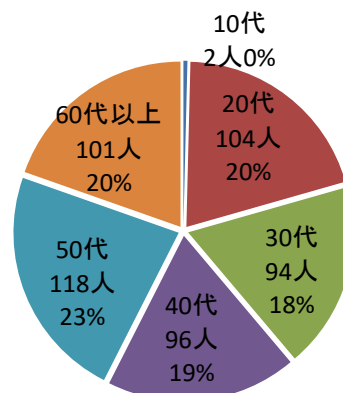
アンケート回答者の属性

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	1人	41人	34人	22人	44人	49人	191人
女性	1人	63人	60人	74人	74人	52人	324人
合計	2人	104人	94人	96人	118人	101人	515人

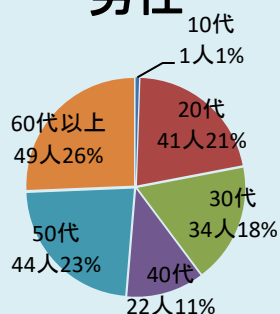
性別：全数



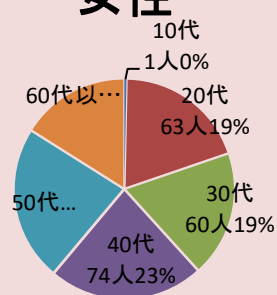
年齢：全数



男性



女性



県内各ハローワークの職業相談窓口において、求職者向けアンケートとして、年齢・性別の指定をせずに調査を実施。524人から回答が得られた。（うち10人については、無回答項目等が多くあり、集計不能。）

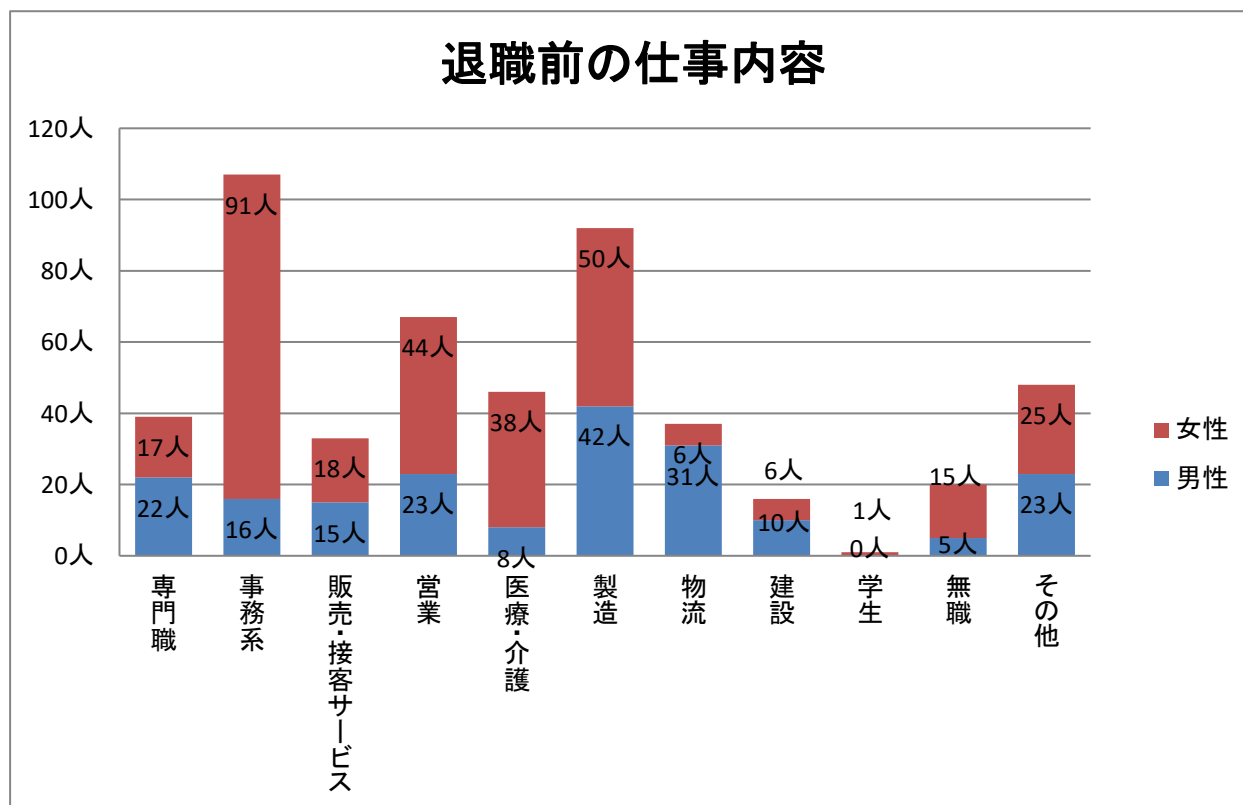
回答者の男女比率では、女性324人（63%）、男性191人（37%）と女性の割合が多くなった。また、年代別では、もともとハローワーク窓口利用が少ない10代の回答数が少ないものの、20代以上については各年代から幅広く回答を得ることができた。

退職前の仕事内容

※複数選択者、無回答者あり。

複数選択者についてはそれぞれで計上。

	男性	女性	合計
① 専門職	22人	17人	39人
② 事務系	16人	91人	107人
③ 販売・接客サービス	15人	18人	33人
④ 営業	23人	44人	67人
⑤ 医療・介護	8人	38人	46人
⑥ 製造	42人	50人	92人
⑦ 物流	31人	6人	37人
⑧ 建設	10人	6人	16人
⑨ 学生	0人	1人	1人
⑩ 無職	5人	15人	20人
⑪ その他	23人	25人	48人



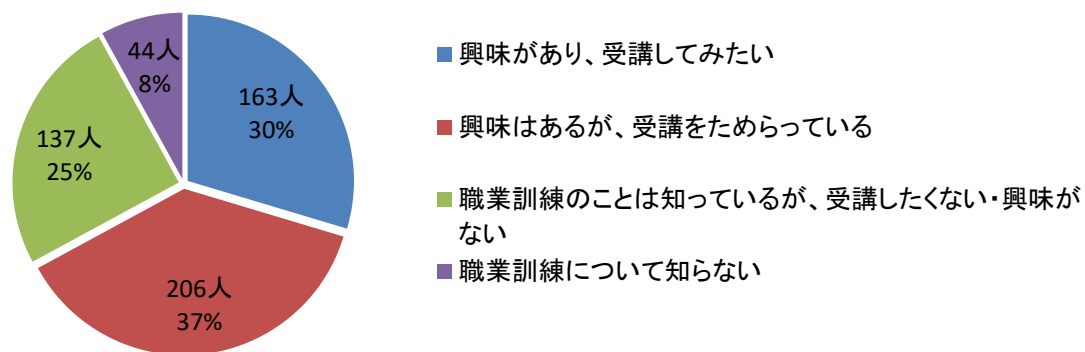
退職前の仕事内容では、男性で最も多かったのが「製造」であり、続いて「物流」、「営業」、「専門職」の順であった。女性では、「事務系」が突出して多く、続いて「製造」、「営業」、「医療・介護」の順であった。

職業訓練（ハロートレーニング）についてどう思うか

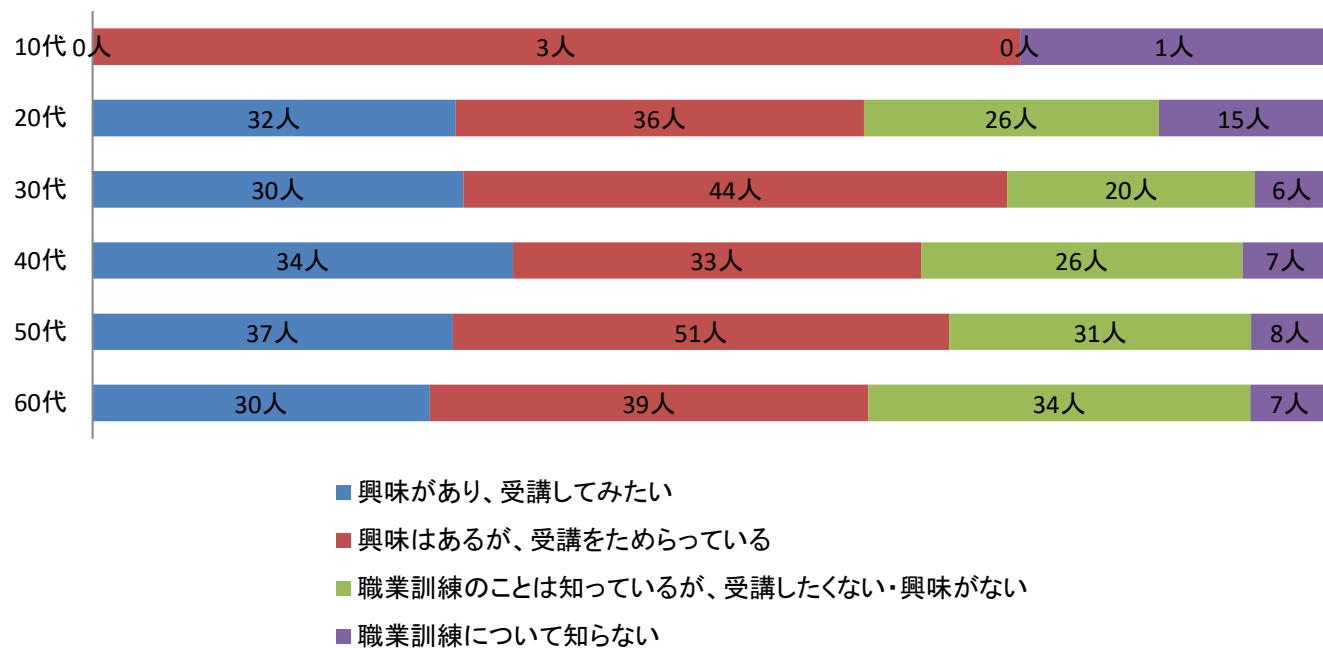
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
① 興味があり、受講してみたい	0人	32人	30人	34人	37人	30人	163人
② 興味はあるが、受講をためらっている	3人	36人	44人	33人	51人	39人	206人
③ 職業訓練のことは知っているが、受講したくない・興味がない	0人	26人	20人	26人	31人	34人	137人
④ 職業訓練について知らない	1人	15人	6人	7人	8人	7人	44人

※複数回答者あり。複数回答の場合はそれぞれで計上

職業訓練への興味・関心（全数）



職業訓練への興味・関心（年代別）



67%の求職者が職業訓練に「興味がある」と回答しており、職業訓練への関心の高さがうかがえる。しかし、「興味がある」者のうち半数以上が「受講をためらっている」と回答した。

また、「職業訓練のことは知っているが、受講したくない・興味がない」と回答している求職者も25%おり、昨年と同じく前々回以前と比較して増加している。

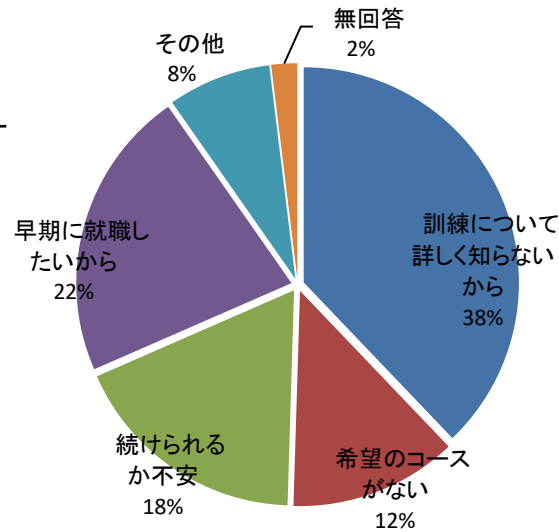
「興味はあるが、受講をためらっている」…の理由

(複数回答者あり。複数回答の場合はそれぞれで計上)

	理由	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
(ア)	訓練について詳しく知らないから	1	10	13	13	19	22	78
(イ)	希望のコースがない	1	6	5	4	7	3	26
(ウ)	続けられるか不安	0	5	7	5	11	9	37
(エ)	早期に就職したいから	1	11	13	6	11	3	45
(オ)	その他	0	3	5	4	2	2	16
	無回答	0	1	1	1	1	0	4

【30代男】
・失業給付の時期が合わない
【40代女】
・毎日の受講が難しい／話を聞いて諦めた
・受講期間が長い／子供がいるから
【20代女】
・受講希望者が多く、定員オーバーしているから
【30代女】
・子育て中／子育てとの両立ができるか不安
【20代男】
・仕事を辞めてまで訓練受けなくていい
・詳しく決めていないので
【50代女】
・場所／失業保険残日数が足りない、給付金受給は家族が良い反応しない
【60代以上男】
・母の介護
【60代以上女】
・交通の便

受講をためらう理由



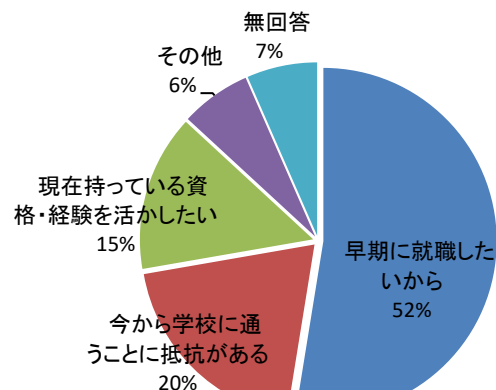
「職業訓練のことは知っているが、受講したくない・興味がない」…の理由

(複数回答者あり。複数回答の場合はそれぞれで計上)

	理由	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
(ア)	早期に就職したいから	0	16	11	16	15	14	72
(イ)	今から学校に通うことに抵抗がある	0	2	1	4	5	15	27
(ウ)	現在持っている資格・経験を活かしたい	0	3	4	5	6	2	20
(エ)	その他	0	3	3	0	0	3	9
	無回答	0	2	1	1	5	0	9

【20代男】
・以前に通ったことがある
・自分で何とかしてる
【60代以上女】
・年齢
・年齢的に難しい
【60代男】
高齢でも受けられるのか

受講したくない・興味がない理由



職業訓練について、「興味はあるが、受講をためらっている」と回答した理由として、「訓練について詳しく知らないから」が38%で最も多く、次いで「早期に就職したいから」が22%と多かった。

また、「受講したくない・興味がない」と回答した理由として、「早期に就職したいから」が52%と半数以上を占め、受講をためらっている求職者と同様、学ぶことよりも就職を優先する傾向にあることがうかがえる。また、「今から学校に通うことに抵抗がある」と回答した求職者も20%おり、年齢的に難しいと考えている求職者が多いこともうかがえる。

希望する訓練種類			(複数回答可)						男						女						男計	女計	合計
									10代	20代	30代	40代	50代	60代～	10代	20代	30代	40代	50代	60代～			
1 事務・医療事務関係	①	簿記3級	0	2	4	1	2	0	0	7	12	13	3	1	9	36	45						
	②	簿記2級	1	5	2	1	1	1	1	8	10	8	3	0	11	30	41						
	③	人事・労務事務	1	1	1	0	0	0	0	3	4	3	5	1	3	16	19						
	④	財形会計・経理事務	1	1	2	1	2	0	0	5	5	2	3	2	7	17	24						
	⑤	保険請求事務	1	0	1	0	1	0	0	1	2	2	4	0	3	9	12						
	⑥	医療事務	1	1	0	1	3	0	0	12	13	14	19	4	6	62	68						
	⑦	介護事務	1	0	0	1	2	1	0	1	0	5	6	4	5	16	21						
	⑧	パソコン初級程度(文書作成・表計算)	0	8	9	1	4	6	0	18	27	29	34	14	28	122	150						
	⑨	パソコン中級程度(文書作成・表計算)	1	10	6	3	4	5	0	15	18	17	11	4	29	65	94						
	⑩	パソコン(データベース・プログラミング等)	1	8	9	2	5	5	0	8	8	8	4	3	30	31	61						
	⑪	パソコン(WEBデザイン・ホームページ作成等)	1	6	6	2	6	4	0	13	7	14	3	2	25	39	64						
	⑫	パソコン(フォトショップ・イラストレーター)	1	6	4	1	7	6	0	8	8	12	1	2	25	31	56						
2 営業・販売・サービス業関係	①	調理師	0	0	1	0	1	1	0	4	1	3	6	6	3	20	23						
	②	理容師・美容師	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	4	4						
	③	ネイリスト	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	1	1	0	10	10						
	④	エステティシャン	0	0	0	0	0	0	0	2	5	4	3	1	0	15	15						
	⑤	販売士	0	0	1	0	1	0	0	2	0	1	1	0	2	4	6						
	⑥	栄養士	0	2	1	0	0	0	0	2	1	6	4	3	3	16	19						
	⑦	コミュニケーション検定	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	3	4	7						
	⑧	造園技能士	0	0	1	3	3	3	0	0	0	1	1	1	10	3	13						
	⑨	ビルクリーニング技能士	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1						
	⑩	トリマー	0	1	0	0	0	0	1	2	1	3	3	0	1	10	11						
	⑪	添乗員(旅程管理主任者)	0	1	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	5	1	6						
	⑫	宅地建物取引主任者	0	1	1	1	2	0	0	2	0	1	0	0	5	3	8						
	⑬	警備指導責任者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1						
3 医療・福祉関係	①	介護福祉士	0	1	0	0	1	1	0	1	2	1	4	1	3	9	12						
	②	社会福祉士	0	0	2	0	1	2	0	1	0	1	1	0	5	3	8						
	③	介護支援専門員	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	4	0	2	6	8						
	④	保育士	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	0	0	1	6	7						
	⑤	介護職員実務者研修	0	0	1	0	3	1	0	0	1	0	1	2	5	4	9						
	⑥	理学療法士	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	3	6						
	⑦	看護師	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4	4						
	⑧	はり師・きゅう師	0	2	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	3	4	7						
	⑨	介護職員初任者研修	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	7	4	11	15						
	⑩	作業療法士	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1	4						
	⑪	歯科衛生士	0	0	0	0	1	0	0	2	3	1	0	0	1	6	7						
4 建築・工事関係	①	SEオペレーター	0	1	2	0	2	0	0	2	1	0	0	0	5	3	8						
	②	CADオペレーター	1	1	2	0	3	2	0	3	2	4	5	0	9	14	23						
	③	電気工事士	1	2	4	0	5	5	0	0	1	0	0	0	17	1	18						
	④	測量士	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	3						
	⑤	電気設備	1	1	3	3	8	5	0	1	3	1	1	0	21	6	27						
	⑥	車両系機械オペレーター	1	1	4	0	1	4	0	0	1	1	0	0	11	2	13						
	⑦	危険物取扱者	1	2	1	0	6	2	0	1	1	0	1	0	12	3	15						
	⑧	建築士	1	3	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	6	2	8						
	⑨	高所作業車運転技能者	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	5	0	5						
	⑩	左官技能士	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1						
	⑪	建築大工技能	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4	1	5						
	⑫	消防設備士	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	3						
	⑬	型枠大工	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1						
5 製造業関係	①	溶接技能	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1						
	②	印刷・製本技術	0	2	2	0	6	4	0	0	0	0	0	0	14	0	14						
	③	自動車整備士	1	1	0	0	2	0	0	1	2	2	1	0	4	6	10						
	④	フライス盤技能	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	1	5						
	⑤	NC施盤作業技能	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1						
	⑥	板金技能工	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2						
	⑦	法制技能工	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	4						
	⑧	シーケンス制御技能	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	2	3	5						
	⑨	機械加工技能士	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1						
	⑩	玉掛け	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	3						
6 その他						リフォーム				デザイン／インテリアコーディネーター		住まいリフォーム											
合計			20	81	82	24	96	72	4	137	156	171	138	61	375	667	1042						

全体	1位	パソコン初級程度(文書作成・表計算)
	2位	パソコン中級程度(文書作成・表計算)
	3位	医療事務
	4位	パソコン(WEBデザイン・ホームページ作成等)
	5位	パソコン(データベース・プログラミング等)
男性	1位	パソコン(データベース・プログラミング等)
	2位	パソコン中級程度(文書作成・表計算)
	3位	パソコン初級程度(文書作成・表計算)
	4位	パソコン(WEBデザイン・ホームページ作成等)
	4位	パソコン(フォトショップ・イラストレーター)
女性	1位	パソコン初級程度(文書作成・表計算)
	2位	パソコン中級程度(文書作成・表計算)
	3位	医療事務
	4位	パソコン(WEBデザイン・ホームページ作成等)
	5位	簿記3級

上記の表は、希望する訓練の種類について、男女別・各年代別に、回答数が多かったものに濃い色をつけているものである。

希望する訓練科目では、性別、年代別で見ても「事務・医療事務関係」が最も多く、女性は「パソコン初級程度(文書作成・表計算)」の人气が高く、男性は「パソコン(データベース・プログラミング等)」等専門的な知識の習得を希望する者が多いことがうかがえる。

その他にも、男性は、「電気設備」、「電気工事士」、「危険物取扱者」といった「建築・工事関係」を希望する者も多く、資格取得を視野に入れた技能習得を考えていることがうかがえる。

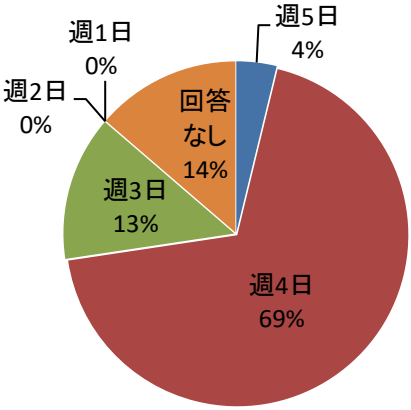
女性は、「事務・医療事務関係」の人气が顕著であるものの、その他では「調理師」、「栄養士」、「エステティシャン」、「ネイリスト」などの「営業・販売・サービス業関係」も人气が高いことがうかがえる。

職業訓練の頻度・期間について

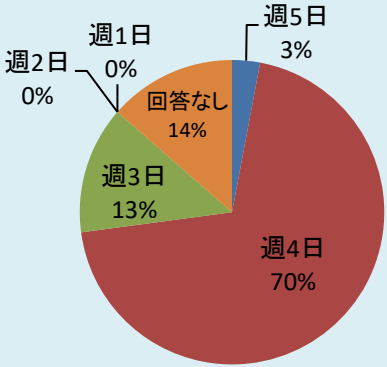
(複数回答者あり。複数回答の場合はそれぞれで計上)

	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	1年以上	その他	回答なし	合計
週5日	2	3	8	1	0	3	1	0	10	28
週4日	75	75	183	26	19	97	17	2	14	508
週3日	29	10	30	4	2	23	2	0	1	101
週2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
週1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答なし	29	10	30	4	2	23	2	0	1	101
合計	135	98	251	35	23	146	22	2	26	738

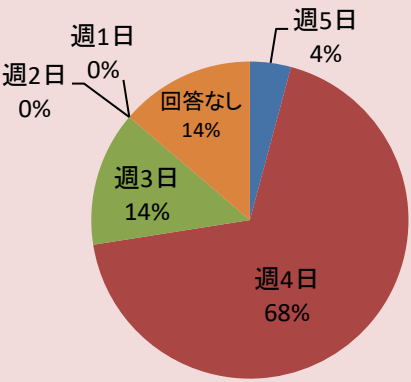
訓練の頻度(全体)



男性



女性



週4日の理由

- 【40代女】
・中休みがあった方が体力的によい／主婦業や親の介護等と両立できそうだから
- 【30代女】
家事・育児があるから
- 【20代女】
・就職活動をしながらだから
- 【60代以上男】
・病院に行っているの

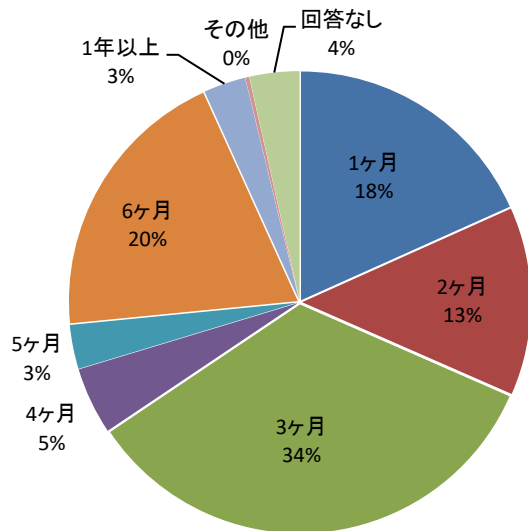
週3日の理由

- 【40代女】
・自宅で勉強するので
- 【30代女】
・長期の場合通いやすい
- 【20代女】
・学校みたいに毎日通うのは苦手だから

週5日の理由

- 【40代女】
・しっかりと学びたいから
- 【20代女】
・数をこなすのが実用的だと思う／平日5日が通いやすい／スキルを短期で身に付けたい
- 【30代女】
・子供がいるので土日祝休みの方がいい／就職時のリズムが整う
- 【20代男】
・通常の職業の業務日数と同程度だから
- 【50代女】
・私のペースに合っている
- 【60代以上男】
・集中した方がよい／集中できるから
- 【50代男】
・土日は休日としたい
- 【30代男】
・詳しく知識を取り入れたい／勉強できる時間はたくさんあるに越したことはない
- ・学校や会社と同じ頻度だから

訓練の期間



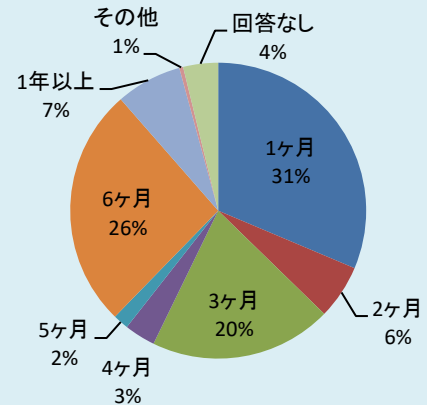
【20代女】

その時の状況による／短期間で学び職につなげたい

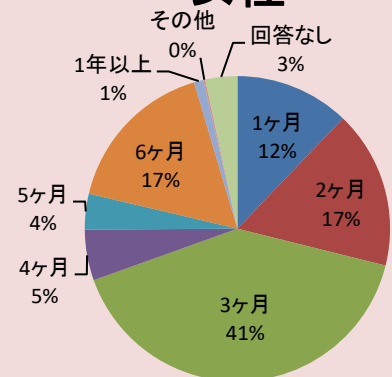
【30代男】

取得ができれば期間はどの程度でもかまわない

男性



女性



全体	1位	週4日 × 3ヶ月	24.8%
	2位	週4日 × 6ヶ月	13.1%
	3位	週4日 × 1ヶ月	10.2%
	3位	週4日 × 2ヶ月	10.2%
	5位	週3日 × 3ヶ月	4.1%

男性	1位	週4日 × 6ヶ月	19.9%
	2位	週4日 × 3ヶ月	16.1%
	3位	週4日 × 1ヶ月	14.8%

女性	1位	週4日 × 3ヶ月	28.9%
	2位	週4日 × 2ヶ月	12.2%
	3位	週4日 × 6ヶ月	10.0%

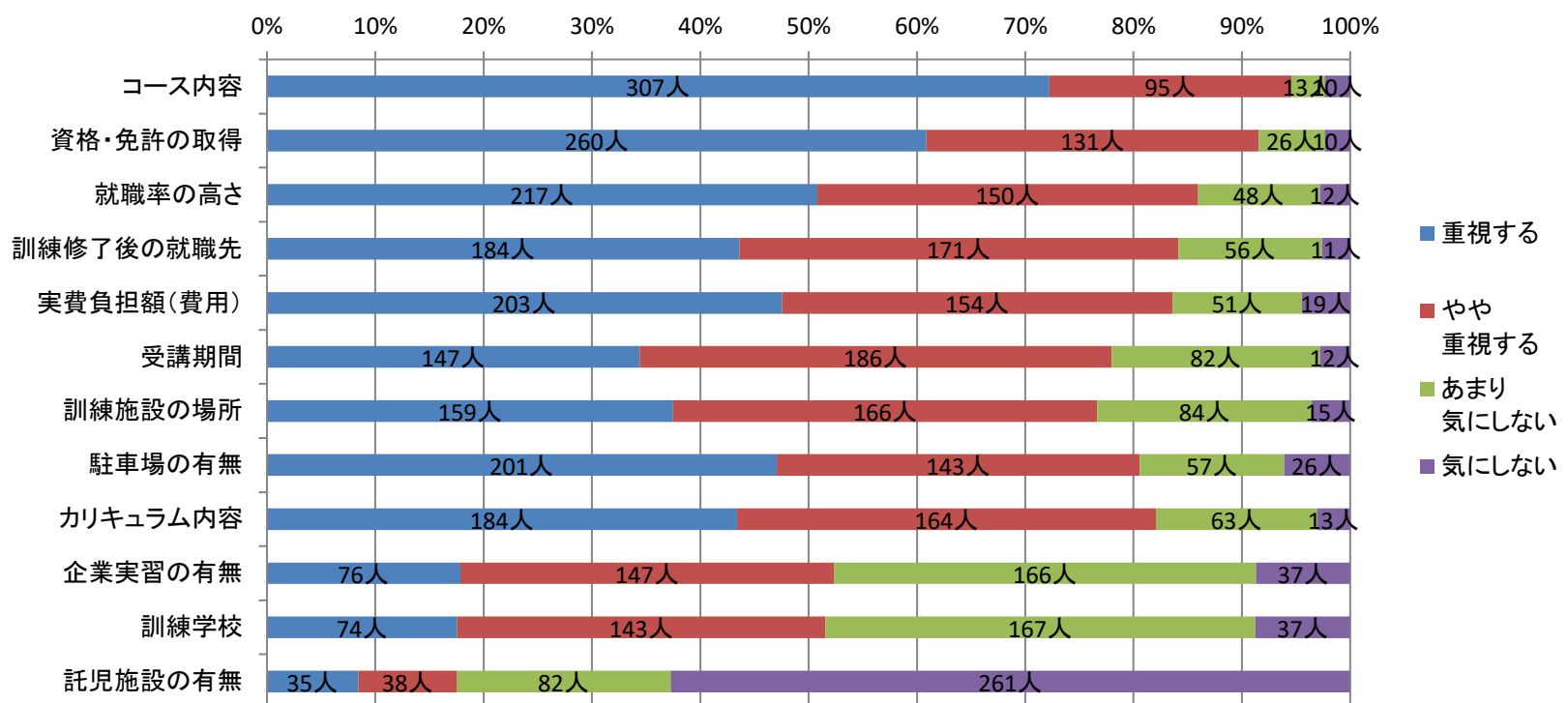
「職業訓練の頻度」については、「週4日」を希望する者が約7割を占めた。前回までは「週5日」を希望する者が最も多かったが、今回は「週5日」を希望する者の割合は少なかった。理由としては、「家事・育児があるから」「就職活動をしながらだから」といった、家庭や就活との両立を図るためというものが多かった。

「職業訓練の期間」については、「3ヶ月」を希望する者が多いが、男性では特に「6ヶ月」を希望する者が多いことがうかがえる。また、「1ヶ月」や「2ヶ月」といった短期間での受講を希望する者も一定数いた。

職業訓練を受講する上で重視することについて

	①	②	③	④
	重視する	やや重視する	あまり気にしない	気にしない
1 コース内容	307人	95人	13人	10人
2 資格・免許の取得	260人	131人	26人	10人
3 就職率の高さ	217人	150人	48人	12人
4 訓練修了後の就職先	184人	171人	56人	11人
5 実費負担額（費用）	203人	154人	51人	19人
6 受講期間	147人	186人	82人	12人
7 訓練施設の場所	159人	166人	84人	15人
8 駐車場の有無	201人	143人	57人	26人
9 カリキュラム内容	184人	164人	63人	13人
10 企業実習の有無	76人	147人	166人	37人
11 訓練学校	74人	143人	167人	37人
12 託児施設の有無	35人	38人	82人	261人

訓練受講で重視すること



【その他重視すること】

自分に合った職業に関係しているか、将来性のあるものか（60代以上男）

将来性があるか（30代男）

受講する人数、年齢等（50代女）

進路指導（20代女）

交通の便（60代以上女）

「職業訓練を受講する上で重視すること」については、「コース内容」や「カリキュラム内容」は当然重視されることがうかがえる。その他、「資格・免許の取得」、「就職率の高さ」、「訓練終了後の就職先」といった、訓練終了後の就職を見据えて訓練コースを設定したい者も非常に多い。この結果は、職業訓練について「興味はあるが、受講をためらっている」理由で「早期に就職したい」と回答した者が多かったことにも結びつく。

また、「駐車場の有無」等通学のしやすさも重視する傾向にあることがうかがえる。

自由記述

- ・ 職業訓練の授業風景をもっと知りたい（30代男）
- ・ 駐車場を用意してほしい（60代以上男）
- ・ コース情報など、ハローワークのＨＰから閲覧しやすいようになると良いと思います（20代男）
- ・ 年齢問わず受けられるものがあれば検討したい（60代以上男）
- ・ 私のやりがいはもちろんですが、先生の指導力についていけるか不安になります（50代女）
- ・ 丸亀校で電気工事士二種技能を受講しました。とても役立ちました。ありがとうございました（50代男）
- ・ ケアマネージャーの勉強を学びたいです（30代男）

○求職者のニーズに合った訓練コース設定について

＜希望する訓練内容＞

「職業訓練のことは知っているが、受講したくない・興味がない」と答えた者以外のアンケート回答者413人に、受講してみたいと思う職業訓練、または取得したい資格について、回答(複数回答可)してもらったところ、回答数は合計1,042であった。

最も回答数が多かった分野が、「事務・医療事務関係(回答数655)」であり、全体回答数の半数以上を占め、人気が集中した。男女別に分析すると、女性は、事務職に必要なスキルとなる「パソコン初級程度(文書作成・表計算)」の人气が高く、男性は、「データベース・プログラミング」等、専門的なパソコン技術の習得を希望する者が多いという傾向が明らかになった。

「医療・福祉関係」については、「介護職員初任者研修(15人)」、「介護福祉士(12人)」等介護関係の訓練を希望する者が多く、「建築・工事関係」については、「電気設備(27人)」、「CADオペレーター(23人)」等の訓練を希望する者が多い。これらについては、「求人者が採用時に希望する技能・資格」とも一致するので、引き続き訓練コースの設定を行っていく必要がある。

一方で、製造業関係の「溶接技能」や「玉掛け」については、希望する求職者は少ないという結果になったが、「求人者が採用時に希望する技能・資格」では上位となっているので、訓練コースの設定は必要であり、求職者のあっせんを行う必要がある。

＜受講できる(受講しやすい)訓練の頻度・期間等＞

「訓練の頻度」では、「週4日」を選択した者が約7割であった。これは男女ともほぼ同一の結果であった。理由としては家事、育児、介護等の家庭の事情によるという意見が多数であった。しっかりと学べて、かつ、家庭との両立ができる「週4日」が通いやすいと考えられていることが分かった。

「訓練の期間」では、「3ヶ月」を希望する者が多かった。男女別では、男性は「6ヶ月」を希望する者が比較的多いのにに対し、女性は「1ヶ月」から「3ヶ月」等短期間の訓練を希望する傾向にあった。

推定される受講者層に応じて、訓練の頻度及び期間を設定していく必要があると考えられる。

＜受講の上で重視すること＞

職業訓練を受講する上で、「コース内容」「カリキュラム内容」等といった基本情報のほか、「資格・免許の取得」や「就職率の高さ」、「訓練終了後の就職先」を「重視する」「やや重視する」と回答した者が比較的多かった。これは、「早期に就職したい」と考えている求職者が多いという結果の表れで、応募者の少ないコース等については、取得できる資格・免許や就職実績、想定される就職先等を積極的に周知することで、応募者確保につながるのではないかと考えられる。

○効果的な周知等について

67%の求職者が職業訓練に「興味がある」と回答しており、職業訓練への関心の高さがうかがえる。一方で、職業訓練のことを「知らない」と回答した求職者も8%おり、特に、10代～20代でその割合が高い傾向がうかがえる。また、職業訓練について、「興味はあるが、受講をためらっている」と回答した理由として、「訓練について詳しく知らないから」が約4割を占めた。この割合は昨年度から変わっておらず、今年度、職業訓練の周知には力を入れているが、今後も効果的な周知が課題である。

また、「受講したくない・興味がない」と回答している求職者は、昨年度と同様、前々回と比較して増加している(前々回16%、前回27%、今回25%)。その理由としては、「早期に就職したいから」が半数を占めているが、「今から学校に通うことに抵抗がある」と回答した求職者も20%おり、年齢面を気にして受講を考えない求職者も一定数存在した。これらの求職者については、「高齢では受講できない」といった誤った職業訓練へのイメージから、学ぶ機会を逃している可能性も考えられる。

職業訓練の周知については、今年度、商業施設等でのPR動画放映や子育て世帯向けの情報誌等へ広告を出す等ハローワークの利用者以外にも情報が行き渡るよう工夫している。また、すでに取り組んでいることではあるが、ハローワークの職員が訓練施設の見学に行くことにより、実際の訓練の様子等が分かり、求職者へ具体的な情報提供ができるため有効である。このように、今後も引き続き、訓練情報の効果的な周知について取り組んでいく必要があると考える。

jobtag

こんな悩みを解決できます！

経験や知識が
活かせる、
これまでとは違う
職業はあるかなあ？

楽しいと思えることや、
やりがいがあると
思える仕事ってなんだろう？

普段の生活では
見かけない、企業間で
活躍している職業
ってどんな仕事か
あるんだろう？

希望の職業の
求人賃金は
どれくらい？

どうしても
苦手なことが
あるけど、
大丈夫かなあ？

job tag
公式キャラクター
タグしつじ

●自分に合ったものを探してみよう！

PC・スマホから
サイトへGO！



職業情報

検索

「job tag」トップページ



jobtag は
こんなサイト！

約500の職業の解説(動画コンテンツを含む)、求められる知識やスキル、どんな人に向いているかなどを、「数値データ」で見える化！就職・転職活動で重要な、「市場分析」「自己分析」、面接などでのアピールポイントの確認や企業の採用活動での詳しい求人(＝応募が集まりやすい求人)の作成、採用基準の明確化など、さまざまな場面で活躍するサイトです。

※「job tag(じょぶたく)」は一般公募で選ばれた職業情報提供サイト(日本版O-NET)のサイト愛称であり、厚生労働省が商標登録しています。
〔登録商標第6477643号、第6477644号〕

job tagの、PICK UP機能！

1

自分に合う職業を探そう！

充実した「適職探索」機能

「職業興味検査」「価値観検査」「簡易版職業適性テスト(Gテスト)」から、自分が楽しいと思えることや、やりがいがあると思えること、能力面の特徴などがわかります。各診断テストの結果から導き出される職業の一覧から向いている職業を検討することもできます。



2

職業を調べよう！

「色々な切り口から検索」

サイトトップの「色々な切り口から検索」ボタンから、「BtoBの職業情報」「未経験でも比較的入りやすい職業」「IT関係職業(業界別)」など、「イメージ検索(地図)」ボタンからは、地図イラストのイメージから職業を検索できるなど、様々な視点から職業を検索することができます。



3

自分のスキルを見える化しよう！

「しごと能力プロフィール」作成

自分のしごと能力プロフィールを作成し、それに合った職業の検索ができます。これまでの仕事やスキルと、希望する職業で求められるスキルなどを比較し、自分の強みや、これから身につけるとよいスキルを知ることができます。スキルアップのための「訓練検索」サイトにもつながっています。



4

これからのキャリアを考える

ホワイトカラー職種向けツール

「ポータブルスキル見える化ツール」で、自分が持っているポータブルスキル※からそれを活かせる職務・職位を検索できます。
※業種や職種が変わっても強みとして発揮できる持ち運び可能な能力

「職業能力チェック」ではホワイトカラー系職種の職務に必要な能力のうち、自分ができていること、できるようにしていく必要があることを整理できます。

5

気になる求人賃金は？

職業別の統計情報・求人情報

職業別の、全国と都道府県別の就業者数や年収、求人賃金や、有効求人倍率などの統計を掲載。就業形態の傾向や産業別の景況動向などの情報も追加しました。勤務地や職業の選択に役立ちます。職業情報から、ハローワークインターネットサービスに掲載されているお住まいの地域の求人も検索できます。ハローワークインターネットサービス▶



6

実際に求職活動をしてみよう

便利な情報

- ✓ 求職ガイド
求職活動の流れに沿って、必要なことを検討・整理できます。
- ✓ 労働法の基礎知識
- ✓ 全国最低賃金一覧
- ✓ 事務、営業といった職種別や、IT、金融、医療といった業界別など、いろいろな観点から仕事の世界を紹介



検査の結果や求人への応募などに関する疑問・お悩みなどは
キャリアコンサルタントやお近くのハローワークにご相談ください。

企業の人事担当者の方、支援者の方にも！

企業の人事担当者の方

的確な人材の採用につながる採用活動、研修計画の作成、社内の業務整理など、幅広い業務に使えます。

おすすめ機能 求人ガイド、人材採用支援・職務整理支援、キャリア分析など

支援者の方

キャリアコンサルタント、紹介業者、大学のキャリアセンターなどの業務に、豊富なデータ・機能を役立てられます。

おすすめ機能 しごと能力プロフィール作成、キャリア分析、労働法の基礎知識など



就職支援 について



香川職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター香川)

訓練課

入所から修了後3か月目まで
一貫した就職支援

受講生の早期就職をサポートするため
に、指導員や就職支援アドバイザーに
よる各種就職支援を行っています。



再就職に向けて 就職活動スケジュール

入所→1～3か月

就職活動に向けて準備期間
(就職ガイダンス・個別面談)

4～6か月→修了

就職活動期間
(企業見学・応募書類作成・面接)

受講中に就職を目指す！

具体的な支援内容



個別面談（1か月目）

就職ガイダンス（2か月目）

求人等の情報提供（入所～修了）

「人材情報」の発行（4か月目）

応募書類添削（随時）

模擬面接（随時）

修了後のフォローアップ（3か月まで）

個別相談



入所後1か月目をめどに、指導員と就職支援アドバイザーによる個別相談を実施しています。
訓練生の履歴や長所・短所や再就職したい職種などの棚卸しをし、**ジョブカード**を作成します。
入所後1か月目中に提出することを目指していただきます。

就職ガイダンス

第1回就職ガイダンス（2か月目）

- ◆就職活動の進め方
- ◆履歴書・職務経歴書の書き方

第2回就職ガイダンス（2か月目）

- ◆雇用失業情勢について
- ◆求人票の見方
- ◆面接の心構えとマナー・応答対策



求人票閲覧コーナー



ハローワークインターネットサービスの訓練関連職種の求人を抽出し、**訓練生ホール**に毎日掲示しています。

休憩時間などを利用し、いつでも最新の求人情報を閲覧することができます。

各種情報コーナー



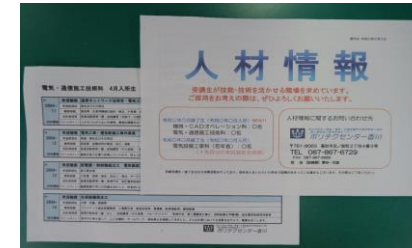
企業のパンフレットや資格試験の案内等、就職に関する様々な情報を自由に閲覧することができます。

パソコンコーナー



訓練生ホールに3台のパソコンと1台のプリンターを設置しています。
いつでも、ご自由に求人検索、ジョブカードや履歴書などの応募書類を作成することができます。

人材情報の発行



入所4か月目に、受講生の希望職種・経歴・取得資格自己PRを記載した「人材情報」を作成し、約350社（今後、増える見込み）に送付しています。

企業からご指名をいただき、訓練生の希望とマッチングをしてから応募していただきます。

就職活動ラストサポート



◆応募書類（履歴書・職務経歴書・添え状）のチェックと記載方法の指導をします。

◆応募先企業を想定した模擬面接の実施（予約制）
入退室の仕方や質疑応答の対策をします。

修了後のフォローアップ

修了日までに就職が決まらない場合も
3か月間、引き続き就職支援サポートが受けられます!!



香川大学におけるリカレント教育の取組の紹介

職業能力の開発及び向上の促進にむけて

香川大学では、リカレント教育の取組がそれぞれの部局によって担われている現状がある。本報告では、それらを大きく三つに分けて説明する。なお、ここでいうリカレント教育とは、「学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくこと」のための「社会人の学び」の機会を指すものとする（厚生労働省 HP「リカレント教育」を参照）。

（１）「リカレント専門講座」を中心とした公開講座（地域人材共創センター）

香川大学地域人材共創センター（旧地域連携・生涯学習センター）では、これまで一般市民向けに教育研究の成果を開放する「公開講座」を年間 30 講座ほど提供してきた。令和 4 年度からは、特に職業人の専門的知識・能力を高めることを目的とする「リカレント専門講座」の枠組みを設けて講座を企画・実施している。従来的一般教養的な内容を中心とした講座とは異なり、企業・社会人の志向に対応する講座の開設が目指されている。（表 1）

表 1 これまでに計画されたりカレント専門講座の概要

No.	タイトル、開講時期	概要、目的	回数、受講料、対象者
1	パークレットを活用した賑わいあるまちづくり (R3. 6. 11~8. 2)	中心市街地のまちづくりや賑わいづくりに向けた実践型研修（ワークショップやアイデアソン等）として企画提案から市場調査、社会実装に至るまでの手法の習得と具現化できる人材の育成を目的とする。	5 日間（3 時間×5 回） 45,000 円／人 企業等での新規事業部、開発部、渉外部（広報、営業等）に係わる従業員、行政職員、まちづくりやにぎわい創出に興味のある一般社会人
2	人生 100 年時代 リーダー（指導者）のための資産運用講座 (R4. 1. 24~2. 21)	「確定拠出年金」「NISA」「つみたて NISA」「iDeCo」等の税制優遇制度について、従業員や顧客への適切な指導を行うために必要な知識を学ぶ。	5 日間（1.5 時間×5 回） 50,000 円／人 確定拠出年金の導入企業担当者、退職者への資産運用指導の担当者、金融機関の運用指導担当者、ファイナンシャルプランナー
3	ジオツーリズム・エキスパート養成講座 (R4. 6. 30~9. 8)	持続可能な観光事業の実現を見据えて、大地の成り立ちと地域の絶景、名産、食文化等の繋がりを解き明かすジオストーリーの組み立て方について実習する。またジオツーリズムの基本と実践方法を学び、ジオツーリズムの企画運営を行うことができる人材を養成する。	3 日間（全 13 時間） 39,000 円／人 ジオツーリズムを業務に活用したい、あるいは関心のある方
4	香川県の農業・農村の未来を考える (R4. 12. 6~R5. 1. 31)	香川県や JA 香川県の職員を講師に、現状の取組説明と実地研修を実施する。受講生同士で講師も交えて農業・農村の未来を考え、ディスカッションを行うことで香川県の農業・農村に関する専門的な知識と理解を備えた人材を育成する。	4 日間（2 時間×4 回） 24,000 円／人 JA 香川県准組合員、かがわグリーン・ツーリズム及び農泊実践者、県内の協同組合の組合員、農業・農村に関心のある方

【リカレント専門講座の企画・運営プロセス】

- (1) 学外（包括連携協力先・企業・団体等）からの要望があった場合は、地域人材共創センタースタッフが対応・検討し、依頼者と調整しながら企画書を作成する。あるいは、学内教員から提案があった場合、企画書を地域人材共創センターが受理し、企画内容に関する検討会を実施する。
- (2) 学部・研究科に配置された「部局コーディネーター」の協力のもと、企画書の実施を担う講座担当教員（複数名での担当も可）の調整を行い、さらなる教育内容の検討、企画立案を行う。場合によっては、依頼者を交えて検討を繰り返し行いながら内容を精査していく。
- (3) 講座実施に向けた事務的な諸手続きについて、地域人材共創センタースタッフが伴走的な支援を行ない、講座の運営を行う。

（２）資格の取得や更新、キャリアアップ等を目的とした各種講習（各学部・各部局）

（教育学部）

教職に就かれている方や教職に就く意思のある方へ向けた「教職リカレントプログラム」を実施。教育現場で必要な知識・技術を身に付けるための学び直し講座をオンラインで開講（R3 年度まで「教員免許更新講習」として実施されていたもの）。

（医学部）

附属病院等で実施する医療従事者向けの研修。「医師キャリア支援センター（専門医研修）」の専門研修プログラム、「特定行為研修センター」の領域別パッケージ研修など実施。

（地域人材共創センター）

文部科学省が香川大学に委託して開催する「社会教育主事講習」の実施。

（３）正規課程での学習（各学部・各部局）

（学部・大学院の正規課程）

各学部・研究科で学位及び職業に関する資格あるいは受験資格の取得が可能。主なものとして教職、医療従事者、建築士、MBA 等。

（学部・大学院の科目等履修生制度）

本学が開設する授業科目の受講を志願する方に、授業に支障のない限り、選考のうえ、入学を許可するもの。授業科目を履修し、試験などの評価を経て、正規の単位を修得することができ、単位修得証明書が発行される（検定料 9,800 円、入学料 28,200 円、授業料 14,800 円/1 単位あたり）。

（文責：大村隆史 香川大学地域人材共創センター）

香川公的職業訓練効果検証ワーキンググループ設置要綱

1 目的

適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため、個別の訓練コースについて、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図るため、香川地域職業能力開発促進協議会の下に香川公的職業訓練効果検証ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を設置する。

2 構成

香川地域職業能力開発促進協議会委員の所属機関の中から、次の機関で構成する。

① 教育訓練機関関係

- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 香川支部
- ・香川県立高等技術学校

② 行政関係

- ・香川県商工労働部労働政策課
- ・高松公共職業安定所
- ・香川労働局職業安定部訓練室

3 ワーキンググループ会議の開催

会議は必要に応じて随時開催する。

4 協議事項

ワーキンググループ会議は、次に掲げる事項について協議する。

- ① 訓練実施機関、訓練修了者、採用企業からのヒアリングに関すること。
- ② ヒアリングを踏まえた訓練効果の検証に関すること。
- ③ 効果検証結果を踏まえた訓練カリキュラム等の改善策等の検討に関すること。

5 事務局

ワーキンググループの事務局は、香川労働局職業安定部訓練室に置く。

（附則） この要綱は、令和4年10月14日から施行する。

第1回公的職業訓練効果検証ワーキンググループの検討結果について

委託訓練についての検証・改善

1 デジタル分野

高等技術学校ではデジタル分野の訓練として、現在「IT システム科【定員 6 名】」及び「デジタルスキルアップ科【定員 15 名】(※)」を設定している。

厚生労働省においては、昨年度に引き続き、令和 5 年度もデジタル分野における職業訓練コースの追加設定を行うことにより、デジタル人材の質的・量的な確保を図る取組みを進める方針であることから、デジタル分野の訓練設定の見直しを下記のとおり行い、当該分野の拡大を目指す。

※デジタルスキルアップ科は、今年度新設した「IT・クリエイター科」が公募不調につき未開講となったことにより、代替措置として設定した訓練である(1月開講予定)。

○改善案

デジタル分野のコースを以下のとおり設定したい。

○WEB・プログラミング科（6 か月/定員 15 名） カリキュラムの内容を一部変更し、デジタル分野の訓練に変更する。 ※令和 4 年度の WEB・プログラミング科は、委託先機関にて試験的に「基本情報技術者試験（ITSS レベル 2）」に対応した内容にバージョンアップし、ノウハウの蓄積に努めている。
○IT・クリエイター科（4 か月/定員 15 名） 令和 4 年度の受託先公募にて応じる事業所が無かった要因として、訓練内容の高度さ（「基本情報技術者（ITSS レベル 2）」）が考えられる（デジタル系の訓練については、これまでの実績（ノウハウ）を有しない事業所が多い。）。このため、「WEB クリエイター認定試験」「PHP 初級」等、訓練内容のレベルを下げることで、訓練を実施する。
○デジタルスキルアップ科（3 か月/定員 15 名） 本年度新規で開講する当科について、次年度から常設する。

〔参考〕WEB・プログラミング科の実施状況

実施年度	定員	応募者	倍率	修了者	就職者	就職率
令和 2 年度（1 期）	15	50	3.3 倍	14	8	57.1%
令和 3 年度（2 期）	15	57	3.8 倍	14	9	64.3%
令和 4 年度（3 期）	15	34	2.2 倍	—	—	—

〔参考〕訓練科に応じた関連就職率

実施年度	修了者	就職者	内 I T 関連就職者	就職率
令和 2 年度（1 期）	14	8	5	35.7%
令和 3 年度（2 期）	14	9	3	21.4%

[参考]令和4年度デジタル分野訓練設定状況との比較

コース名	定員 (R4 実績)	定員 (R5 計画)
IT システム科	6	6
デジタルスキルアップ科	15	15
WEBプログラミング科	—	15
IT・クリエイター科	—	15
計	21	51

2. 介護系分野

高等技術学校では介護系分野として、「介護初任者科（高松）」「介護初任者科（丸亀）」「介護実務者科」の委託訓練及び「介護サービス科（※令和4年度より再開）」の施設内訓練を実施している。

このうち「介護初任者科（高松）」については、近年、応募者の減少傾向に歯止めがかからず、令和4年度には応募者が1名となった。

その一方で、高松地域で介護初任者に関する求職者支援訓練の設定が増加しており、県の実施する訓練においても、「介護実務者科【定員 15 名】」及び「介護サービス科【定員 15×2 回】」により一定の受け皿の確保はできていると考えられるため、当訓練の廃科を検討する。

なお、介護初任者科（丸亀）については、令和4年度にこれまで当訓練の受託を行っていた事業者が、丸亀地区での事業から撤退したことにより、全2コースとも未開講となったが、令和5年度は継続することとして、受託事業者の開拓を試みる。

○改善案

近年の応募状況等を踏まえ、「介護初任者科（高松）」を廃科としたい。

[参考1] 介護初任者科（高松）の直近5回の開講状況及び入校率

科名	開始年月	定員	入校者数	入校率 (入校者／定員)
介護初任者科 (高松)	令和2年7月	16	15	93.7%
	令和2年9月	16	8	50.0%
	令和3年7月	16	4	25.0%
	令和3年11月	16	9	56.2%
	令和4年5月	16	未開講	※応募者（1人）が最低受託数未満

〔参考２〕介護初任者科（丸亀）の直近５回の開講状況及び入校率

科名	開始年月	定員	入校者数	入校率 (入校者／定員)
介護初任者科 (丸亀)	令和２年８月	16	未開講	※応募者（０人）が最低受託数未満
	令和２年１２月	16	９	56.2%
	令和３年８月	16	16	100.0%
	令和３年１２月	16	15	93.7%
	令和４年度	16	未開講	委託実施機関なし

〔参考３〕介護サービス科の開講状況及び入校率

科名	開始年月	定員	入校者数	入校率 (入校者／定員)
介護サービス科	令和４年７月	15	7	46.6%

3. 観光系分野

高等技術学校では観光系分野として、「観光おもてなし科」の委託訓練を実施している。

当訓練は過去１度しか開講できていない上、コロナ以前であるにも関わらず、最低受託定員を下回る６名で開講している。その後も最低受託定員を超える応募は１度もなく、訓練ニーズが見込めないため、廃科が望ましいと考える。

○改善案

近年の応募状況等を踏まえ、「観光おもてなし科」を廃科としたい。

〔参考１〕観光おもてなし科の開講状況及び入校率

科名	開始年月	定員	入校者数	入校率 (入校者／定員)
観光おもてなし科 (高松)	令和元年９月	15	6	37.5%
	令和２年９月	15	未開講	応募者が最低受託数未満
	令和４年３月	15	未開講	応募者が最低受託数未満
	令和４年度	15	未開講	委託実施機関なし

求職者支援訓練についての検証・改善

1. トリマー科

令和4年度に新規で開講したが、受講者3名と少なかった。また、社会経験が少ない若年者を想定していたが実際は40代で社会経験がある受講者であったことから、訓練が見込みより早く進み、受講者の就職により訓練中止となった。

○改善案

訓練期間を6ヶ月→3ヶ月に短縮する。

- (1) 応募者が少なく、6か月の訓練は求職者から長いと受け取られている可能性がある。
ハローワークのアンケートでは「3か月～6か月」を希望している求職者がもっとも多く、次に訓練期間「3か月」が多いことから訓練期間を短縮する。
- (2) 実施機関も2回目で慣れが見込めるので、3ヶ月でも滞りなく進行すると想定される。
- (3) 訓練時間の短縮に伴い、修了時のイメージを「しっかり知識・技術を習得する」から「ペットショップ店員やトリマーとして働くための基本的な知識・技能を習得し、就職後も働きながらスキルアップする」にする。

2. 地域ニーズ枠

地域ニーズ枠は、各都道府県、又は都道府県内の一定地域の求人ニーズ等に応じたより効果的な訓練の設定に資するよう、各都道府県の状況や工夫に応じて主体的に設定するものであること。地域職業能力開発促進協議会のみならず、ワーキンググループ等の労働局、都道府県、機構等が参加する場を積極的に活用し、地域計画に定めること。

〔参考1〕香川県における過去の地域ニーズ枠

- 平成27年度「旅行・観光分野」
- 平成28年度「医療事務分野（三豊、観音寺地域）」
- 平成29年度「旅行・観光分野」（地域コンソーシアム事業において開発）
- 平成30年度「販売・マーケティング分野」（地域コンソーシアム事業において開発）
- 令和元年度「営業・販売・事務分野」（短時間）
- 令和2年度「営業・販売・事務分野」（短時間）
- 令和3年度「就職氷河期世代支援コース」（2か月（介護、医療事務）又は短時間）
- 令和4年度「短期・短時間特例訓練」

〔参考2〕中央訓練協議会における令和4年度 地域ニーズ枠の方針

- ・基礎又は実践コースで少なくとも1訓練コース分を設定
- ・特定の訓練分野、特定の対象者又は特定の地域について設定
- ・都道府県の訓練認定規模の20%以内

○令和5年度における地域ニーズ枠（案）

オンライン及びeラーニングコース

（1）理由

政府が推進するデジタル推進人材の育成及び訓練機会の乏しい地域に住む人等へ訓練機会を提供する。既に、他県のオンライン及びeラーニングコースを受講する方は増えてきており、また、「オンラインだと子育て中でも受講しやすかった」とのアンケートの声もあったことから、オンライン及びeラーニングのコースを地域ニーズ枠に選定する。

（2）課題

対応できる実施機関が少ない。

WEB・プログラミング科

10月4日開講 入校生募集!

- ☆ 募集定員 15名
- ☆ 募集期間 令和4年8月23日(火)～令和4年9月6日(火)
- ☆ 訓練期間 令和4年10月4日(火)～令和5年3月31日(金)
 - ・ 訓練時間：9:45～16:15
 - ・ 休日：土・日・祝日・年末年始
- ☆ 応募資格 就職に意欲があり、公共職業安定所長の受講指示又は受講推薦等を受けることができる方
- ☆ 申 込 願書を所轄のハローワーク（公共職業安定所）へ提出してください。
 - ・ 願書は、ハローワークにあります。
 - ・ 願書には、証明写真（縦4cm×横3cm）が1枚必要です。
- ☆ 選 考 ①日 時：令和4年9月14日(水) 9:00〔受付8:35～8:55〕
②場 所：香川県立高等技術学校 高松校
③内 容：職業適性検査、面接（HB鉛筆2本程度を持参してください。）
④合格発表：令和4年9月22日(木) 香川県立高等技術学校から通知
※ 受験票はありません。願書を提出された方は選考日に選考場所へおこしてください。
選考時にはマスクの着用をお願いします。
- ☆ 受講料 無料
 - ・ ただし、テキスト代（32,000円）及び資格試験受験料は自己負担になります。
- ☆ 訓練施設 株式会社穴吹カレッジサービス 高松会場
高松市錦町 1-6-8 JICCA ビル3階 （電話087-823-0303）
- ☆ その他 ・ 雇用保険受給資格のある方は、訓練期間中、雇用保険失業給付金（基本手当、受講手当、該当者には通所手当）が支給されます。

お問い合わせ先

- ハローワーク
- 香川県立高等技術学校 高松校
高松市郷東町 587-1 電話 087-881-3171

(注) 応募者が定員に達していない場合、開講できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、訓練期間等について変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
開講にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大予防のための業種別ガイドライン等に則した感染防止策を徹底して実施します。

☆ 訓練内容

科 目		科 目 の 内 容	時間
学 科	安全衛生	VDT作業、安全衛生作業法	1
	コンピューター基礎	Word 基本操作（文書作成、編集、印刷、書式設定基礎等） Excel 基本操作（表作成、複数シートの操作、データベースの利用等）	57
	コンピューター概論	コンピューターの構成、ハードとソフト、タスク・ファイル管理、システム構成、ネットワーク管理、IP、情報セキュリティ	30
	WEB 概論	Web サイトの基本（Web デザイン、様々な種類の Web サイト、ユーザビリティ）、HTML・CSS の基本	30
	プログラム概論	アルゴリズム、配列、プログラムの属性と言語、SQL	24
	ビジネスマナー	ビジネスにおける最低限のマナーと言葉遣い、ロールプレイング	9
	職業人講話	IT がつくる未来やIT の仕事の楽しさ	3
実 技	ビジネスソフト実習	Word 応用操作（図形描画、長文・アウトライン等） Excel 応用操作（データベースの活用、ピボットテーブル、関数機能・マクロ記録等） Excel 関数 関数の応用実践 Access 基本操作（テーブルの作成等）応用操作（クエリの活用等）	114
	HTML・CSS 実習	ドキュメント、セクション、コンテンツのグループ化、テキストの定義、埋め込みコンテンツ、テーブル、フォーム、インタラクティブ、スクリプティング、HTML の基礎知識、セレクター、アニメーション、トランスフォーム、コンテンツ、CSS の基礎知識等	120
	Java Script 実習	文字や数値の取り扱い、データの取り扱い、ブラウザの操作、ユーザーアクション、HTML 要素の操作、アニメーション、画像・音声・動画	108
	WEB サイト等制作実習	フルスクリーンのWEB サイト、2 カラムのWEB サイト、タイル型のWEB サイト、外部メディアの利用	117
	VBA プログラミング実習	VBA の構文・変数と定数、配列、デバッグ等のプログラムの基本実習	42
	就職支援対策	ジョブ・カード作成、履歴書・職務経歴書・自己PRの書き方、面接対策・模擬面接、キャリア・コンサルティング	18
	入校・修了等	入校・修了オリエンテーション	3
総訓練時間			676
取得可能な資格		・基礎情報技術者試験（受験料 7,500 円） ・Web クリエイター能力認定試験スタンダード（受験料 5,700 円） ・コンピュータサービス技能評価試験 ワープロ部門 3 級（受験料 5,350 円） ・コンピュータサービス技能評価試験 表計算部門 3 級（受験料 5,350 円） ・VBA エキスパート Excel VBA ベーシック（受験料 13,200 円）	
訓練目標		コンピューターの基礎を代表的なビジネスソフトの操作で習得し、プログラミングに関する知識を理解することで企業内 IT 業務の効率化を目指す。また、WEB に関する知識を理解し、WEB ページ制作・管理を行うことを目指す。	

☆ 案内図

●訓練施設：

株式会社穴吹カレッジサービス 高松会場

- ・駐車場、駐輪場 無
- ・JR 高松駅から徒歩 7 分



●選考会場：

香川県立高等技術学校 高松校

- ・臨時駐車場 有（無料）
- ・ことでんバスイオン高松線 警察学校前から徒歩 8 分



トリマー専科



募集期間 令和4年2月17日(木)～令和4年3月28日(月)

訓練期間 令和4年4月20日(水)～令和4年10月19日(水)

訓練時間 9:00～15:50 (昼休み1時間10分) 土日祝日は休み

施設見学会: 令和4年3月7日(月) 午前10時～ 令和4年3月21日(月)午前10時～

見学希望の方は事前にご連絡ください。

上記日程以外をご希望の方はご連絡ください。

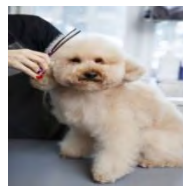
受講料: 無料

*但し、テキスト代として5,830円(消費税込み)が自己負担となります。

なお、テキスト代については訓練初日に徴収いたします。ご不明な点は訓練実施施設にお問い合わせください。

訓練目標

犬の習性や適切な健康・衛生管理の知識、シャンピング、ドライング、カッティング技術の基本を習得し、トリマーのスタートラインにつける知識・技能を身につける。



応募資格	特定求職者その他公共職業安定所長が認定職業訓練を受講することが適当であると認めた求職者の方。犬猫アレルギーのない方。
申込方法	住所を管轄するハローワークにご相談ください。 受講申込書には、写真(縦40mm×横30mm以内)が必要になります。 申し込み提出先: ペットサロンわんニャン館 申し込み提出先住所 〒769-0311 香川県仲多度郡まんのう町買田 660-11 提出方法: 郵送に限る *締切日必着
募集定員	15名 受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は、訓練の実施を中止する場合があります。
選考日時	令和4年4月4日(月)10:00～12:00 (受付時間 9:30～10:00) 選考方法: 面接 持参物: 筆記用具
選考場所	〒769-0311 香川県仲多度郡まんのう町買田 692-32(ペットサロンわんニャン館研修所)
選考結果通知発表日	令和4年4月8日(金) *本人宛に郵送にて可否の通知をいたします。
実施施設への交通手段	駐車場:あり 10台 無料 自転車バイクの駐輪場:あり 最寄り駅:JR・琴電琴平駅 車5分 (JR・琴電琴平駅より無料送迎あり)
その他	訓練期間中、一定の要件を満たせば、職業訓練受講給付金を活用できる場合があります。雇用保険受給中の方については当該給付金の対象外となりますので、ご注意ください。 詳しくはハローワークにお問い合わせください。
訓練実施機関名	株式会社トウエンティワン (問合せ先) TEL0877-58-8771 (担当者名) 三宅
訓練実施施設名	ペットサロンわんニャン館研修所 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田 692-32



訓練カリキュラム



未経験者でも安心訓練・親切指導



訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間
	学科	入所式・修了式	入所式・オリエンテーション(2h)・修了式(2h)
		就職支援	履歴書の書き方・面接マナー指導・職務経歴書の書き方・ジョブ・カード作成支援
		安全衛生	ショップ内の安全と衛生・動物に対する安全と衛生・器具の扱い方・鉄の扱い方と動かし方
		犬学・動物看護	犬の扱い方・トリミングに必要な基礎知識・犬種基礎知識・動物看護知識
	実技	犬の取り扱い実践 ・受付業務実践	犬種基礎知識接触方法、コミュニケーション方法、犬舎の衛生管理方法、保定の仕方 接遇、業務別コミュニケーション、飼い主とのコミュニケーション方法・飼い主への理解
		トリミング実技①	健康状態のチェック、道具の扱い方・使い方 トリミング基礎作業（爪切り・爪やすり・耳掃除・足裏バリカン・ブラッシング・シャンプー・ドライイング）
		トリミング実技②	トリミング基礎作業の一連を通して実施（爪切り、爪やすり、耳掃除、足裏バリカン、ブラッシング、シャンプー、ドライイング、肛門腺絞り、足回りカット）
		トリミング実技③	犬種別シャンプー実技、犬の健康状態に合わせたシャンプー実技、部分カット実習
		トリミング実技④	バリカン実習、決められた時間内での部分カット実習、チップング実習、カット中の保定方法
		トリミング実技⑤	全体カット実習、犬種別カット実習、デッサン
		職業人講話	テーマ（仕事の意義・報告連絡相談の重要性）
	総訓練時間 612 時間（学科 24 時間、実技 582 時間、職業人講話 6 時間）		
	就職支援の内容	求人情報の提供や就職相談窓口を設け、常時相談できるようにする。 キャリアコンサルティングを行い、履歴書作成指導、面接指導、ジョブ・カード作成支援を行う	



訓練実施施設 ペットサロンわんニャン館研修所

駐車場 10 台可 無 料

〒769-0311 香川県仲多度郡まんのう町買田 692-32

問い合わせ **0877-58-8771** 担当者名 三宅

*新型コロナウイルス感染防止対策（アルコール消毒、マスク着用の周知徹底、こまめな換気等）に取り組んでいます。

経験値0から始められるトリマー入門訓練

未経験者でも安心訓練・親切指導

トリマー入門科 (短時間)



募集期間 令和4年10月5日(水)～令和4年11月11日(金)

訓練期間 令和4年12月7日(水)～令和5年3月6日(月) (土日祝日は休み)

訓練時間 9:00～11:50 ただし毎火曜日と12/8、12/9、12/12、3/3は
9:00～15:50 (昼休み1時間10分)

施設見学会: 令和4年11月3日(木) 午前10時～ 令和4年11月6日(日)午前10時～

見学希望の方は事前にご連絡ください。 上記日程以外をご希望の方はご連絡ください。

受講料: 無料

*但し、テキスト代として5,830円(消費税込み)が自己負担となります。

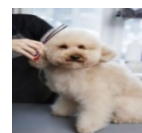
なお、テキスト代については訓練初日に徴収いたします。ご不明な点は訓練実施施設にお問い合わせください。

訓練目標

犬の習性や適切な健康・衛生管理の知識、ブラッシング、シャンプー、ドライイング、カッティング技術の基本を習得し、トリマーのスタートラインにつける知識・技能を身につける。



応募資格	一般の求職中の方。また主として新型コロナウイルスの影響を受け、在職中で訓練時間に配慮が必要な方。特定求職者その他公共職業安定所長が認定職業訓練を受講することが適当であると認めた求職者の方。犬猫アレルギーのない方。
申込方法	住所を管轄するハローワークにご相談ください。 受講申込書には、写真(縦40mm×横30mm以内)が必要になります。 申し込み提出先: ペットサロンわんニャン館 申し込み提出先住所 〒769-0311 香川県仲多度郡まんのう町買田 660-11 提出方法: 郵送に限る *締切日必着
募集定員	15名 受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は、訓練の実を中止する場合があります。
選考日時	令和4年11月18日(金)10:00～12:00 (受付時間 9:30～10:00) 選考方法: 面接 持参物: 筆記用具
選考場所	〒769-0311 香川県仲多度郡まんのう町買田 692-32(ペットサロンわんニャン館研修所)
選考結果通知発表日	令和4年11月25日(金) *本人宛に郵送にて合否の通知をいたします。
実施施設への交通手段	駐車場:あり 15台 無料 自転車バイクの駐輪場:あり 最寄り駅:JR・琴電琴平駅 車5分 (JR・琴電琴平駅より無料送迎あり)
その他	訓練期間中、一定の要件を満たせば、職業訓練受講給付金を活用できる場合があります。雇用保険受給中の方については雇用保険受給資格のある方は、訓練期間中、雇用保険失業給付金(基本手当、受講手当、該当者には通所手当が支給される場合があります。 詳しくはハローワークにお問い合わせください。
訓練実施機関名	株式会社トウェンティワン (問合せ先) TEL0877-58-8771 (担当者名) 三宅
訓練実施施設名	ペットサロンわんニャン館研修所 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田 692-32





訓練カリキュラム



未経験者でも安心訓練・親切指導



訓練内容	科目		科目の内容	訓練時間
	学科	入所式・修了式	入所式・オリエンテーション(2h)・修了式(2h)	
		就職支援	履歴書の書き方・面接マナー指導・職務経歴書の書き方・ジョブ・カード作成支援	6 時間
		安全衛生	ショップ内の安全と衛生・動物に対する安全と衛生・器具の扱い方・鋏の扱い方と動かし方	9 時間
		犬学・動物看護	犬の扱い方・トリミングに必要な基礎知識・犬種基礎知識・動物看護知識	9 時間
	実技	犬の取り扱い実践演習	犬種基礎知識接触方法、コミュニケーション方法、犬舎の衛生管理方法、保定の仕方	15 時間
		受付業務実践演習	接遇、業務別コミュニケーション、飼い主とのコミュニケーション方法・飼い主への理解	6 時間
		トリミング基礎演習	健康状態のチェック、道具の扱い方・使い方 トリミング基礎作業（爪切り・爪やすり・耳掃除・足裏バリカン・ブラッシング・シャンプー・ドライグ） トリミング基礎作業の一連を通して実施（爪切り、爪やすり、耳掃除、足裏バリカン、ブラッシング、シャンプー、ドライグ、肛門腺絞り、足回りカット）	45 時間
		トリミング実践演習	犬種別シャンプー実技、犬の健康状態に合わせたシャンプー実技、部分カット実技、バリカン実技 決められた時間内での部分カット実技、チッピング実技、カット中の保定実技	75 時間
		トリミング総括演習	全体カット実技	9 時間
	職業人講話		テーマ（仕事の意義・報告連絡相談の重要性）	6 時間
	総訓練時間 180 時間		（学科 24 時間、実技 150 時間、職業人講話 6 時間）	
	就職支援の内容		求人情報の提供や就職相談窓口を設け、常時相談できるようにする。 キャリアコンサルティングを行い、履歴書作成指導、面接指導、ジョブ・カード作成支援を行う	



訓練実施施設 ペットサロンわんニャン館研修所

駐車場 15 台可 無 料

〒769-0311 香川県仲多度郡まんのう町買田 692-32

問い合わせ **0877-58-8771** 担当者名 三宅

*新型コロナウイルス感染防止対策（アルコール消毒、マスク着用の周知徹底、こまめな換気等）に取り組んでいます。

令和5年度 香川地域職業訓練実施計画策定方針

		①公共職業訓練（県が民間に委託し実施）「委託訓練」				②求職者支援訓練（高齢・障害・求職者雇用支援機構が民間に委託し実施）			
分 野		令和4年度 計画数		令和5年度 計画数		令和4年度 計画数		令和5年度 計画数	
		コース数	定員	コース数	定員	コース数	定員	コース数	定員
公共職業訓練 ＋求職者支援訓練（離職者向け） （実践コース）	IT分野	3	36	4	51	3	50	3	50
	営業・販売・事務分野	14	248	14	248	3	58	6	90
	医療事務分野	4	72	4	72	4	60	5	75
	介護・医療・福祉分野	6	94	5	79	6	95	6	95
	農業分野	2	20	2	20				
	旅行・観光分野	1	15						
	デザイン分野					3	45	3	45
	製造分野					2	30	4	73
	建設関連分野								
	理容・美容関連分野	1	4	1	2				
	その他分野	1	10	1	10				
	【地域ニーズ枠】※分野は定めない 令和4年度：短期・短時間特例訓練 令和5年度：オンライン・eラーニング	－	－	－	－	10	150	4	60
求職者支援 訓練（基礎コース）	基礎	－	－	－	－	20	300	20	300
合計		32	499	31	482	51	788	51	788
（参考） デジタル分野		2	21	4	51	6	95	6	95

※求職者支援訓練は、「IT」「営業・販売・事務」「医療事務」「介護・医療・福祉」「デザイン」以外の分野（灰色部分）については、「その他分野」として一括りで計画している

令和5年度 香川県地域職業訓練実施計画の策定方針について

1. 長期高度人材育成コース

令和4年度		令和5年度	
介護	12	介護	14
保育	18	保育	17
IT	6	IT	6
美容	4	美容	2

(参考：R4年度目安数) (参考：R5年度目安数)

介護福祉士：12人 介護福祉士：14人
 保育士：18人 保育士：17人
 その他：10人 その他：8人

(※)長期高度人材育成コース実施状況

科名	年度	定員	応募者	入校者	充足率	修了者	就職者	就職率
介護福祉科	H30	25	12	12	48.0%	11	11	100.0%
	R1	25	7	7	28.0%	5	4	80.0%
	R2	25	6	5	20.0%	5	4	80.0%
	R3	12	12	11	91.7%	—	—	—
	R4	12	12	12	100.0%	—	—	—
保育科	H30	15	2	2	13.3%	2	2	100.0%
	R1	15	8	7	46.7%	7	7	100.0%
	R2	15	17	15	100.0%	14	14	100.0%
	R3	20	16	13	65.0%	—	—	—
	R4	18	15	15	83.3%	—	—	—
美容科	H30	15	2	2	13.3%	2	2	100.0%
	R1	15	1	1	6.7%	1	0	0.0%
	R2	15	6	6	40.0%	5	5	100.0%
	R3	7	2	2	28.6%	—	—	—
	R4	4	4	3	75.0%	—	—	—
ITシステム科◎	H30【未開講】	15	—	—	—	—	—	—
	R1	15	2	2	13.3%	1	1	100.0%
	R2	15	6	5	33.3%	3	3	100.0%
	R3【未開講】	8	—	—	—	—	—	—
	R4	6	9	6	100.0%	—	—	—
4科計	H30	70	16	16	22.9%	15	15	100.0%
	R1	70	18	17	24.3%	14	12	85.7%
	R2	70	35	31	44.3%	27	26	96.3%
	R3	47	30	26	55.3%	—	—	—
	R4	40	40	36	90.0%	—	—	—

◎デジタル系訓練

2. 知識等習得コース

科名	令和4年度				令和5年度			
	訓練期間	コース数	定員	託児定員	訓練期間	コース数	定員	託児定員
介護初任者科	3月	3	48	4	3月	2	32	—
介護実務者科	6月	1	16	4	6月	1	16	4
OA医療事務科	3月	4	72	8	3月	4	72	8
OA経理事務科	3月・4月	3	54	4	3月・4月	3	54	4
ビジネスパソコン科(初級)	3月	6	105	—	3月	6	105	—
ビジネスパソコン科(中級)	3月	3	54	—	3月	3	54	—
ビジネススキルアップ科	4月	1	15	—	4月	1	15	—
WEB・プログラミング科◎	6月	1	15	—	6月	1	15	—
ビジネス経理科	6月	1	20	—	6月	1	20	—
さぬきうどん科	2月	1	10	—	2月	1	10	—
農業科	3月	2	20	—	3月	2	20	—
観光おもてなし科	3月	1	15	—	—	—	—	—
デジタル・スキルアップ科◎	(年度途中追加)				3月	1	15	—
IT・クリエイター科◎	4月	1	15	—	4月	1	15	—
小計	—	28	459	20	—	27	443	16
(長期高度人材育成コース)	2年	(未定)	40	—	2年	(未定)	39	—
合計	—	—	499	20	—	—	482	16
◎デジタル系訓練							(51)	

※介護初任者科(高松)及び観光おもてなし科を廃科。

ITシステム科、WEB・プログラミング科、デジタル・スキルアップ科及びIT・クリエイター科の4科(定員51名)をデジタル系の訓練として設定する。

令和5年度 香川地域職業訓練実施計画(求職者支援訓練)【案】

香川労働局

香川県における令和5年度の求職者支援訓練の定員数については、令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の雇用情勢への影響は一定程度あると想定されることから、雇用のセーフティーネットとしての求職者の就職支援のため、認定上限値を788人とし、これをもとに令和5年度の分野別定員を下記のように策定。

1. 基礎コースと実践コースの割合

	令和4年度		令和5年度		
定員数		788人		788	国の割合 (案)
基礎コース	38.1%	300人	38.1%	300人	認定規模の40%
実践コース	61.9%	488人	61.9%	488人	認定規模の60%

2. 新規枠の割合

	令和4年度		令和5年度		
基礎コース	30%	90人	30%	90人	国の割合 (案) 上限 30%
実践コース	30%	146人	30%	146人	上限 30%

3. 実践コースの分野別割合

	令和4年度		令和5年度		
実践コース定員数		488人		488人	国の割合 (案)
介護系	19.4%	95人	19.5%	95人	下限 20% 上限 なし
医療事務系	12.3%	60人	15.4%	75人	下限 5% 上限 なし
デジタル系(IT)	10.2%	50人	10.2%	50人	下限 10% 上限 なし
デジタル系(WEB系)	9.2%	45人	9.2%	45人	
営業・販売・事務系	11.9%	58人	18.4%	90人	
【地域ニーズ枠】	19.0%	150人	7.6%	60人	1訓練コース以上 認定規模20%以内
その他	6.8%	30人	15.0%	73人	

※短期間・短時間特例訓練が延長される見込みで策定